

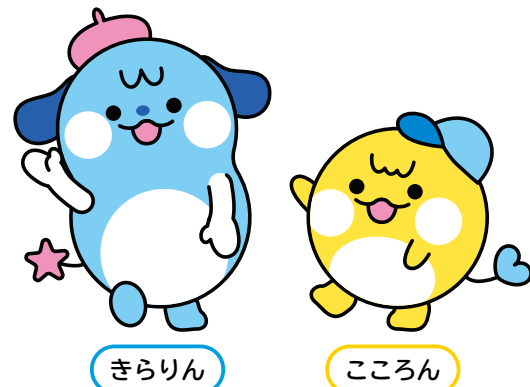
あ ICTの活用 20, 38	さ 3段階構成 8	な 熱中症 52
アレルギー 52	ジェンダー 55	は 働き方改革 70
安全教育 52	思考力・判断力・表現力等 46	1人1台端末環境 38
インクルーシブ教育 54	資質・能力 46	評価 36
衛生面 50	指導書 76	福祉 55
SDGs 53	社会に開かれた教育課程 57	防災教育 52
か 外来生物 53	主体的・対話的で深い学び 63	ま 学びに向かう力、人間性等 47
拡大教科書 82	情報モラル教育 57	学びのプロセス 8
家庭との連携 57	人権 55	マルチリンガル教科書 82
CUD 54	スタートカリキュラム 24	めくり言葉 10
カリキュラム・マネジメント 48	た 他教科等との関連 48	や ユニバーサルデザイン 54
環境教育 53	地域との連携 57	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 24
感染症対策 50	知識及び技能 46	幼児教育との接続 24
キャリア教育 27	中学年以降への接続 26	幼保小連携 66
QR コンテンツ 38	できるかな できたかな 47	ら 臨時休校 51
協働的な学び 19	デジタル教科書 80	
健康 50	デジタルたんけんブック 42	
言語能力の育成 56	伝統や文化 58	
合科的・関連的な指導 35	動画 38	
国際理解 58	特別支援教育 54	
個別最適な学び 19		



デジタルたんけんブックのご紹介

デジタルたんけんブック（QRコンテンツ）について詳しく解説した資料をご用意しています。ご入用の方は、下記にお問い合わせください。

◀内容解説資料
デジタルたんけんブック編



教科書のご紹介 Web ページ

教科書ご紹介 Web ページをご用意しています。「観点別特色一覧表」や「編修趣意書」などをデータでダウンロードいただけます。



啓林館 生活科

検索

https://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/sho_r6/seikatsu/

※ QR コードの情報は無料ですが、インターネット接続に必要な費用や通信料などは、使用される方のご負担になります。通信環境をご確認の上、ご利用ください。
※ QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



<https://www.shinko-keirin.co.jp/>

本社	〒543-0052	大阪市天王寺区大道4丁目3番25号	電話 (06) 6779-1531
東京支社	〒113-0023	東京都文京区向丘2丁目3番10号	電話 (03) 3814-2151
北海道支社	〒060-0062	札幌市中央区南二条西9丁目1番2号サンケン札幌ビル1階	電話 (011) 271-2022
東海支社	〒460-0002	名古屋市中区丸の内1丁目15番20号ie丸の内ビルディング1階	電話 (052) 231-0125
広島支社	〒732-0052	広島市東区光町1丁目7番11号広島CDビル5階	電話 (082) 261-7246
九州支社	〒810-0022	福岡市中央区薬院1丁目5番6号ハイヒルズビル5階	電話 (092) 725-6677

Google for Education は Google LLC の商標です。



内容解説資料

2024年度用 小学校生活科教科書

啓林館

この資料は、2024 年度用小学校教科書の内容解説資料として、一般財団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って作成しています。



啓林館の教科書には、児童も教師も、
生活科が楽しくなるしかけがいっぱい！

さあ、わくわくする生活科
始めてみませんか？

のぞいてみる

学びをつなぐ 未来をひらく

今までの生活科を大切に。これからの生活科の可能性を広げる。

生活科が誕生して約30年。ずっと大切にしてきた「豊かな体験と活動」をこれまで以上に大切に編集しました。人や社会、自然と関わりながら、これからの新しい時代を生きるための資質・能力を育むとともに、豊かな人間性を醸成することを目標として、児童が夢中になって思いや願いを実現しようとする学習活動を設定しています。さらに、1人1台タブレット時代に合わせ、低学年の発達の段階と特性に配慮した新しいICTの活用例を提案できるように編集しています。



紙の教科書 × ICTの活用



編集委員長 中野真志 先生（愛知教育大学 教授）

児童が「わくわく」して何度も見たくなる教科書にしました。加えて、これまでの経験を生かして、次にやってみたいことを考え、自らの成長に気付きながら「いきいき」と生活できるようになる教科書を目指しました。そして、思いや願いを素直に表現し、すすんで交流することで、それらを一連の意味のある出来事として捉えたり、自己理解を一層深めたりしながら「くぐんぐん」と成長できる教科書となるように構成しています。

また、これまで生活科で積み上げられてきた豊かな実践をもとに、ICTの特質や、低学年児童の発達の段階と特性に十分配慮して、児童がICTを活用しながら深い学びを実現する活動の様子や姿を掲載しました。

ぜひ、先生方のみならず、保護者の方や地域の方など、児童に身近な大人の方たちにも手にとりいただき、児童の学び、成長をどのように支えていけばよいか、ともに考え、共有できる教科書になればと、切に願っています。

めざす子ども像

夢中になる子ども

思いや願いを強くもち、夢中になって学びに向かう子ども

学びを創る子ども

他者と協力して、主体的に学びを創り出す子ども

共に生きる子ども

人や自然、社会と関わりながら、自分の生活をより豊かにしようとする子ども

3分でわかる！

新しくなった教科書の魅力



もくじ

編集の基本方針	2
特色の一覧	4

教科書の4つの特色

特色1 学びの連続性を大切にした教科書	
3段階構成	8
めくり言葉	10
特色2 生活科の学びを豊かにする教科書	
3つのずかん	14
多様な学習活動	18
ICTの効果的な活用	20
特色3 子どもの育ちを丁寧に学ぶ教科書	
すたあとぶっく	24
ステップブック	26
特色4 教師をサポートする教科書	
教室環境、評価など	28

特集 QRコンテンツ	38
学びウェブ	40
デジタルたんけんブック	42

編集上の工夫や配慮

資質・能力の3つの柱	46
カリキュラム・マネジメント	48
衛生面、感染症対策	50
臨時休校などへの配慮	51
防災教育・安全教育	52
SDGs、環境教育	53
インクルーシブ教育	54
言語能力の育成	56
情報モラル教育	57
社会に開かれた教育過程	57
国際理解	58
伝統や文化に関する教育	58

観点別特色一覧表

教育基本法との関連	60
学習指導要領との関連	61
学習指導要領の内容一覧	73

その他の資料

年間活動計画	74
指導書	76
デジタル教科書	80
マルチリンガル教科書、拡大教科書	82

マンガでわかる！教科書の魅力	83
----------------	----

パッと見て
わかる!

教科書の4つの特色と

QRコンテンツのご紹介!

特色 1

学びの連続性を 大切にした教科書

- 3段階構成で深い学びを実現します。

わくわく (単元導入)

いきいき (主な活動)

ぐんぐん (振り返り)

8ページへ

- めくり言葉で
思いや願いが繋がります。

10ページへ



もつと生きものを
知りたいな。

51

特色 2

生活科の学びを 豊かにする教科書

- 3つのずかんで学びを支えます。

14ページへ



びっくりずかん
LIVE
ライブ
学研の図鑑 LIVE
編集部と啓林館
とのコラボ制作!

- 多様な学習活動で
気づきの質を高めます。

18ページへ

- ICTの効果的な活用で
学びの可能性を広げます。

20ページへ

特色 3

子どもの育ちを 丁寧につなぐ教科書

- 幼児期から学びをつなぐ

「すたあとぶっく」 24ページへ



- 3年生以降へと学びをつなぐ

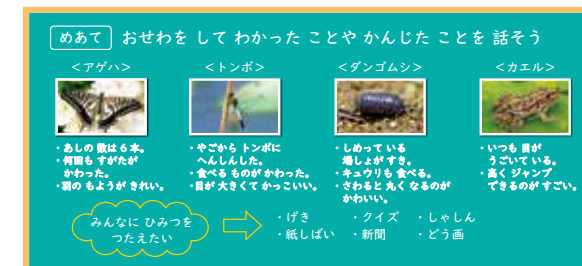
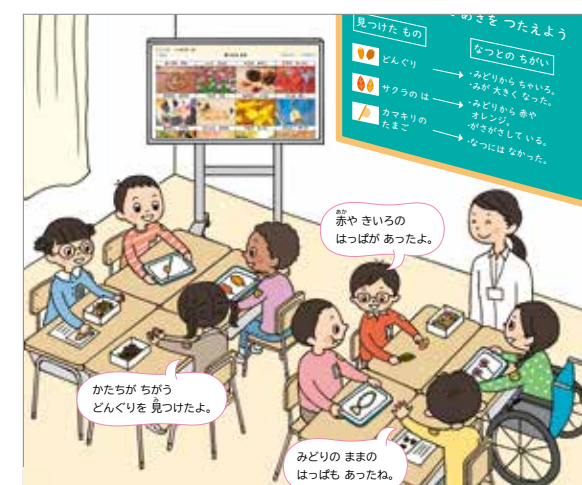
「ステップブック」 26ページへ

特色 4

教師をサポート する教科書

- 教室環境や評価の手立ての例示で、
安心して指導できます。

28ページへ



学びウェブ

動画・音声・スライドショー・クイズ・
ウェブリンクなどのコンテンツをまと
めた啓林館の自社サイトです。

※教科書の紙面の QR コードを読み取ると使用できます。



デジタルたんけんブック

電子ブック形式のデジタル図鑑です。「生き
物図鑑」「調理方法」「防災図鑑」など多様
なテーマで学びをサポートします。

※教科書の裏表紙の QR コードを読み取ると使用できます。





特色
1

学びの 連続性を 大切にした 教科書

3段階構成で深い学びを実現します。📖 p. 8 ▶

めくり言葉で思いや願いが繋がります。📖 p.10 ▶

3段階構成で 深い学びを実現します。

本教科書は、単元の流れを単元導入『わくわく』→主な活動『いきいき』→振り返り『ぐんぐん』の3段階で構成し、主体的・対話的で深い学びの実現ができるよう工夫しています。



特色 1

思いや願いを持つ

活動や体験をする

感じる・考える

伝え合う・振り返る

単元導入

わくわく

児童の「やってみたい!」を刺激するダイナミックな写真や問いで構成しています。



主な活動

いきいき

見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどして対象に直接動きかける学習活動を大切にしています。



振り返り

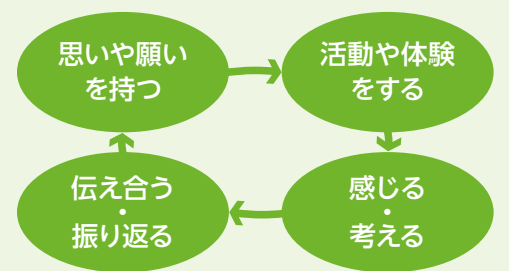
ぐんぐん

他教科等との関連を図りながら、言葉・絵・動作・劇化・ICTを活用した発表など多様な表現活動を例示しています。



学習指導要領 生活科の学習過程の基本

「わくわく」→「いきいき」→「ぐんぐん」の流れは、生活科の学習指導要領に“学習過程の基本”として記載されている「①思いや願いを持つ→②活動や体験をする→③感じる・考える→④表現する・行為する（伝え合う・振り返る）」に沿った流れになっています。授業計画が立てやすく、生活科を初めて指導する先生にも安心してご活用いただける構成です。



めくり言葉で 思いや願いが繋がります。

児童の“気付き”や“思いや願い”が次の活動につながるように、紙面右下に『めくり言葉』を設定しています。活動が途切れることなく連続して進んでいく展開は、スパイラルに**深い学びを実現する**のみならず、次の活動への意欲を高め、**児童の主体性を育てる**一助となります。

小单元名

具体的な学習活動

生きものを そだてよう

どんなせわをすればいいのかな。

生きものの ひみつを さがそう

ふしぎだな。きれいだな。すごいな。

はっ見た ことを つたえ合おう

できるかな できたかな？

生きものの へんかや せい長の ようすが わかったよ。

生きものの せい長に 合わせて せわの ほうほうを くふうしたよ。

生きものの いのちを 大切に して せわを つづけたよ。

ひろがる きもち これから 生きものを どうしよう？

家て かいにつづきたいな。

もとした 場しよに かえして あげよう。

生きものを かえす ときは 先生に そうだんしよう。

大はっ見をつたえたいな。

めくり言葉

活動の中で生まれた気付きや、
次の活動への思いや願い

学習 指導要領

主体的・対話的で深い学び

教科書で示されている思いや願いは、あくまでも一例ではありますが、児童が『めくり言葉』をきっかけに、「わたしはもっと○○したい」「今度は○○をしてみたい」と自分の思いや願いを膨らませたり、教師が『めくり言葉』を参考に、思いや願いを実現していく一連の学習活動をイメージしたりして活用いただくことで、主体的・対話的で深い学びの実現につながります。



特色
2

生活科の 学びを 豊かにする 教科書

特色
2

3つのずかんで学びを支えます。📖 p.14 ▶

多様な学習活動で気付きの質を高めます。📖 p.18 ▶

ICTの効果的な活用で学びの可能性を広げます。📖 p.20 ▶

3つのずかんで 学びを支えます。

生活科の学びがもっと楽しくなる
3つのずかんをご用意しています。

児童が喜びそうな
図鑑ですね！



▲びっくりずかん：上巻 p.50-51

▼デジタルたんけんブック：QR コンテンツ

▲がくしゅうずかん：上巻 p.127

1 びっくりずかん

豊かな感性や表現力を
育む図鑑です。

児童の知的好奇心や探究心をくすぐる豊富な資料を掲載し、気づきの質を高められるように工夫しています。

びっくりずかん
LIVE
ライブ

「学研の図鑑 LIVE 編集部」とコラボ制作した特別な図鑑ページです。

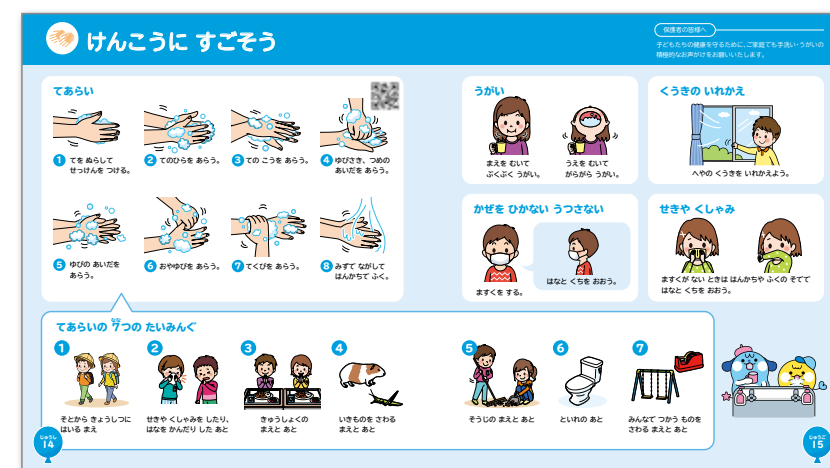


▲上巻 p.82-83

2 がくしゅうずかん

基本的な知識・技能や
学び方を示した図鑑です。

上下巻の巻末に、調べ方や記録の仕方、安全や健康に関する資料などをわかりやすく掲載しています。



▲上巻 [小寸] p.14-15

3 デジタルたんけんブック (電子ブック)

児童の「もっと知りたい！」に
応えるデジタル図鑑です。

「生き物図鑑」「調理方法」「防災図鑑」など豊富な資料を電子ブック形式で閲覧できるようにしています。

こちらのQRコードから
お試しください。

詳しく見る 本誌 p.38~43 へ



初コラボ!

びっくりずかん LIVE

Gakken × 啓林館

新しく教科書に加わった『びっくりずかん LIVE』のページは、学研の図鑑 LIVE 編集部と啓林館が初コラボした特別な図鑑です。今回、学研の図鑑 LIVE 編集部の西川さんに『びっくりずかん LIVE』に込めた思いをお聞きました。



株式会社 Gakken
学研の図鑑 LIVE 編集部 西川 寛



子どもたちに“わくわく”を。 コラボ制作のスタート!

まさか、市販用の学習図鑑を編集している自分が、教科書の制作に携わる機会があるとは思っていませんでした。コラボのお話をいただいた際はとても驚きました。

「啓林館」と聞き、最初に思い浮かんだのは理科でした。でも、今回制作するのは生活科の図鑑。生活科という教科を理解するために、何度も打ち合わせを重ねました。

そして、「**ビジュアルな紙面と資料性だけでなく、子どもの気付きや学びのきっかけになる図鑑を作りたい**」という想いに共感し、コラボ制作がスタートしました。

一般書籍とは異なる、 「生活科」ならではの配慮。

私が普段編集している市販用の学習図鑑は、資料性が豊かなことが第一条件です。しかし「生活科」の教科書の場合は、ただ単に情報量を増やせばいいわけではないようです。

紙面を編集する上で大切にしたのは「子どもたちが外に出かけたくなる紙面に」という視点。そこで、「どんぐり大けんきゅう」(上巻 p.80-81)には、日本のどんぐりを多数掲載していますが、**学研の図鑑 LIVE では「日本で見られるどんぐり 22 種類をならべています」と記載しているのに対して、びっくりずかん LIVE では「なんしゅるい あるかな?」という問いかけを記載するように工夫しました。**

多くの種類のどんぐりを掲載した資料性はそのままに、**子どもが思わず外に出て、探検したくなる「余白」をつくるように配慮しました。**



圧倒的ビジュアル! 写真へのこだわり。

『びっくりずかん LIVE』で使用している写真は、**何百枚もの候補の中から、Gakken 編集部も啓林館編集部も納得のいく写真**が選ばれています。また、**植物・昆虫の研究者の方々にも監修いただき、正確な写真を掲載**しています。

例えば、「おちばコレクション」(上巻 p.82-83)に登場する落ち葉の写真は、編集者自身、もしくは図鑑にご協力くださった研究者の方々が採集した落ち葉を撮影したものです。できるだけ状態が良く、なおかつ特徴がよくわかるものを追い求めました。同じことが「どんぐり大けんきゅう」(上巻 p.80-81)にもいえます。ただし落ち葉とちがい、どんぐり(実)そのものだけで種名を判断するのは、とても難しいことです。そのため採集する際に葉や樹皮なども必ず確認した上で、種名を特定しています。

学研の図鑑 LIVE の「LIVE」には、図鑑を手にする人に**“本物を伝えたい”**や**“リアル感を伝えたい”**というような想いが込められています。今回コラボ制作した『びっくりずかん LIVE』も、その想いを込めて、丁寧に編集しました。子どもたちが、細部までこだわりぬいた図鑑ページを目にする日を、楽しみにしています。

知ることは、あたらしい世界と出会うこと。

図鑑をひらいて、知らない世界をのぞけば、
わくわくでいっぱいの、きみだけの冒険が始まる。

多様な学習活動で 気付きの質を高めます。

1 学びのキーワード

紙面の適所に『学びのキーワード』として、**見付ける**、**比べる**、**たとえる**、**試す**、**見通す**、**工夫する**などの気付いたことを基に考えるための多様な学習活動の例を示し、児童が思考を働かせ、気付きの質を高めることができるように配慮しています。

みつける

くらべる

たとえる

ためす

みとおす

くふうする

あきのおもちゃを つくって あそぼう

どんな くふうができるかな。

くらべる

ちがう音が
するね。

ためす

バランスをとるのが
むずかしいよ。

見て見て、
うまくできたよ。

どの こまが いちばん
まわるかな。

よく まわる どんぐりこまと
まわらない どんぐりこまがあるぞ…。

くふうする

たのしい おもちゃが
できたね。

みんなで
あそびたいな。

どうくを あんぜんに
つかおう

どうくを つかおう
→ 125 ページ

あきのおもちゃの作り方をひらきたいな。

2 協働的な学び

グループで考えたり、話し合ったりする活動のようすが具体的に示されており、**他者と意見を交流することで自分の考えを広げたり、深めたりする姿**がイメージできるようにしています。



下巻 p.39 ▶

3 個別最適な学び

『びっくりずかん』、『がくしゅうずかん』、『デジタルたんけんブック』などの豊富な資料により、**児童自身が思いや願いを実現するために必要に応じて資料を参照したり**、個の状況に応じて教師が資料を提示したりできるようにしています。



私がつくりたい
おもちゃは…。

QR コンテンツ

おもちゃの作り方動画は、10 種類ご用意しているので、児童の思いや願いに沿った活動が可能になります。

ICTの効果的な活用で 学びの可能性を広げます。

1 ICTの活用の例示

生活科の活動をより深める・広げるための「ひとつの道具」として、ICTが有効な場面には、タブレット端末や電子黒板などを活用した活動（記録する、整理する、振り返る、発表するなど）を**低学年の発達の段階や特性**及び**生活科の特質**に配慮しながら例示しています。

記録する・保存する

写真や動画を撮影する活動の例示



▲上巻 p.71

思考する

撮影した写真をもとに、比べたり、対話したり、振り返ったりする活動の例示



▲上巻 p.26



上巻 p.13 ▼

情報を収集する

インターネット等で調べる活動の例示



◀下巻 p.51

整理する

写真を並べたり、文字を入れたりする活動の例示



◀下巻 p.25

伝える・表現する

写真や動画で気付きを共有する活動の例示



◀上巻 p.61

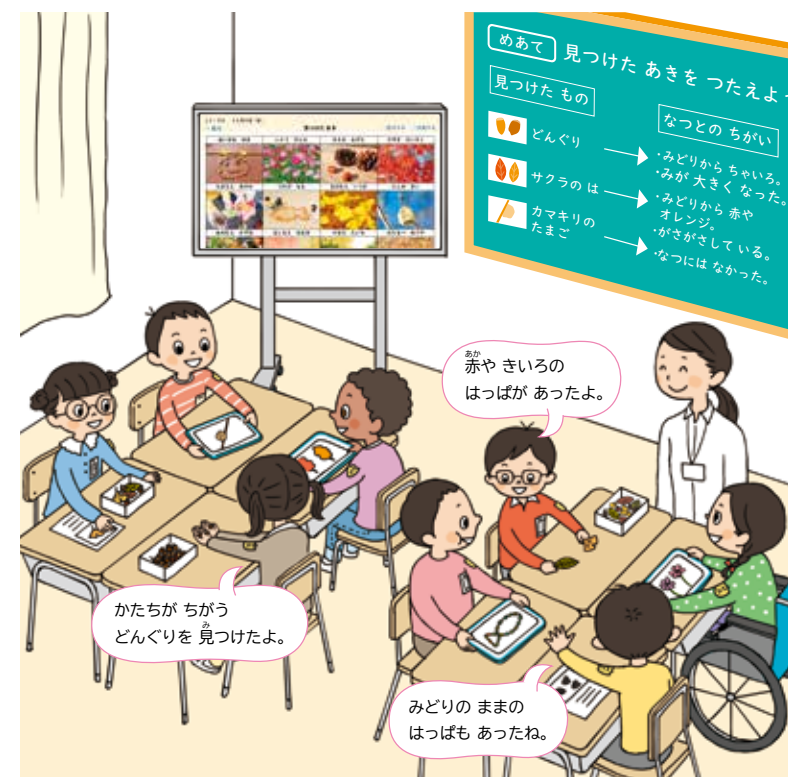
双方向の通信・外部への発信

オンラインを活用した交流活動の例示



▲下巻 p.37

2 ハイブリッドな授業モデルの例示



これまでの生活科の授業実践にICTを組み合わせたハイブリッドな授業モデルを例示しています。

授業づくりの参考になります。



◀上巻 p.72

編集上留意したこと

低学年児童の発達の段階や特性に配慮しながら、**学習のねらい**や**ICT機器の特質**などに応じて、効果的な学習場면을例示するようにしています。

低学年児童の
発達の段階

低学年児童の
特性

生活科の特質

学習の
ねらい

ICT機器
の特質

リアルとデジタルの適切な融合を目指しました。

こんな場面では紙のカード！



- じっくり観察
- 自分の思いを表現

こんな場面ではICT！

- 空間を超える
- 野外での活動の記録
 - 家での活動の記録
 - 町探検の活動の記録



- 時間を
超える
- 過去の写真と比べる
 - 成長過程に沿って時系列に写真を並べる

栽培活動の例 色の変化や細かい毛の様子に気付かせたい場面では“紙のカードで記録する活動”を、植物の成長や生命の連続性に気付かせたい場面では“写真や動画を活用して成長過程を比較したり、時系列に並べたりする活動”を設定するなど、リアルとデジタルの適切な融合の中で、深い学びが実現できるように工夫しています。




特色
3

子どもの 育ちを 丁寧につなぐ 教科書

特色
3

幼児期からの学びをつなぐ「すたあとぶっく」  p.24 ▶

3年生以降へと学びをつなぐ「ステップブック」  p.26 ▶

幼児期からの学びをつなぐ 「すたあとぶっく」



▲上巻 [小寸] p.1

上巻の巻頭には、**スタートカリキュラム**に関する単元を掲載しました。入学したばかりの1年生が**幼児期に育まれた資質・能力を発揮**しながら、**楽しく安心して学校生活を始める**ことができるように工夫しています。

絵本のような紙面
紙面を小寸サイズにし、
角を丸く裁断しています。



1 幼児期の写真からはじまる「すたあとぶっく」

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」の視点で選定した幼児期の写真を掲載しています。**児童にとっては安心感につながり、教師にとっては幼児教育の成果を生かす指導の参考**になります。

このあそび、したことあるよ！

安心感を
高める



▲上巻 [小寸] p.2-3

2 幼児期に親しんだ活動

幼児期に親しんだ遊びを通して仲間づくりを行う活動などを豊富に例示し、入学当初の緊張感のある児童が、**活動を通して人間関係を豊かに広げていけるように**配慮しています。



▲上巻 [小寸] p.8-9

3 合科的・関連的な学習活動

幼児期からの学びや育ちを生かす活動をきっかけに、各教科等の学習に円滑に移行できるよう、生活科を中心とした**合科的・関連的な学習活動の例が充実**しています。

あそびが学びにつながる広がる！

各教科への
円滑な移行



▲上巻 [小寸] p.10-11

4 保護者も安心

単元冒頭の『保護者の皆様へ』のメッセージでは、スタートカリキュラムの意義や期待する児童の姿などを示しています。

5 指導書〔スタートカリキュラム編〕

スタートカリキュラムを作成する際の参考資料としてご活用いただける『指導書 スタートカリキュラム編』をご用意しています。（本誌 p.79へ）

3年生以降へと学びをつなぐ 「ステップブック」

下巻の巻末には、幼児期や生活科で培った資質・能力を自覚するとともに、3年生以降の未来への期待感を高め、自信と意欲をもって進級することができるように、『ステップブック～みらいにむかって～』の資料単元を設定しました。



自信と意欲をもって3年生へ、そして未来へ

生活科は、子どもたちが自立し生活を豊かにしていくための基盤を創る、大切な教科です。幼児期から小学校、中学校以降へと続く「学びのストーリー」は、途切れることなく、子ども一人ひとりの生涯にわたる学びや人生へとつながっていきます。

ステップブックを開くと、そこには子どもたちが経験してきた幼児期の学びや、生活科の2年間の学びが、1つの「ストーリー」として広がっています。子どもたちには、学びを通して得た手応えや、身近な存在に支えられながら成長してきた実感をもとに、自信と期待感をもって未来を切り開いてほしい、そんな願いをこのページに込めました。

ぜひ保護者の方にも、このページを通して、お子様と一緒にこれまでの成長を振り返り、3年生以降への期待感をわかち合ってください。また、教師の皆様にも、幼児期から続く2年間の生活科の学びを見通し、指導の充実の手がかりとしてご活用いただければ幸いです。



山口大学大学院 准教授
藤上真弓 先生

幼児期の学びや経験と

生活科の学びを振り返り

出会った人に思いをはせて

3年生以降への期待感を



1 学びの連続性が見てわかる

観音開きの仕様にすることで、幼児期～生活科～3年生以降への学びの連続性が見てわかるように工夫しています。

2 保護者の方も一緒に

ページ下部の『保護者の皆様へ』のコーナーで、各ページの意図をわかりやすく解説しています。

3 キャリア教育の視点

自分の将来に希望を持ちながら、夢の実現に向けて進んでいけるように、様々な職業のイラストを掲載しています。

なんと！
生活科を
専門としている先生

1%

だから！
生活科を専門としていない先生方にも
生活科の深い学びが
イメージできる教科書
を目指しました！

その他の教科

国語 …… 12.8%	外国語 …… 5.7%	保健体育 …… 11.7%
算数 …… 11.8%	音楽 …… 4.3%	道徳 …… 2.5%
理科 …… 8.5%	図画工作 …… 2.5%	その他 …… 14.5%
社会 …… 11.7%	家庭 …… 1.9%	(弊社独自調査より)

特色
4

教師を サポートする 教科書

特色
4

3段階構成の紙面から単元全体の流れがわかる！ p.30 ▶

単元扉とわくわくタイムで児童の心をつかむ！ p.31 ▶

教室環境の見える化で授業のイメージがわかる！ p.32 ▶

教師の支援の見える化で
主体的・対話的で深い学びを実現！ p.34 ▶

育てたい資質・能力が具体的な姿で見える！ p.36 ▶

単元全体を見通す

3段階構成の紙面から
単元全体の流れがわかる！



わくわく



いきいき



ぐんぐん

本教科書は、単元の流れを単元導入『わくわく』
→主な活動『いきいき』→振り返り『ぐんぐん』
の3段階で示しています。単元全体の見通しが
もちやすく、**単元計画を立てやすい構成**です。



『わくわく』→『いきいき』→『ぐんぐん』の流れ
は、生活科の学習指導要領に“学習過程の基
本”として記載されている「①思いや願いを持つ
→②活動や体験をする→③感じる・考える
→③表現する・行為する（伝え合う・振り返る）」
に沿った流れになっています。

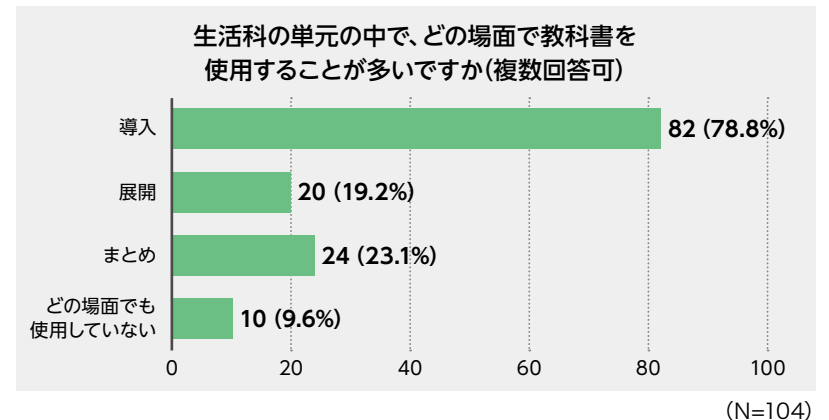
単元の導入がわかる

単元扉とわくわくタイムで
児童の心をつかむ！

教科書の使用率が
1番高いのは単元導入！

生活科の授業の中で、もっとも教科書が
使用されている場面は単元の導入です。

「令和4年度 日本生活科・総合的学習教育学会
中部地区9支部合同研究大会 講演資料」
愛知淑徳大学 准教授 加藤智 先生

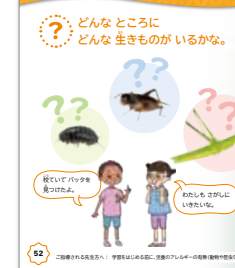


そこで！

単元導入を強化しました！

単元扉

生きもの 大すき



単元の導入は、単元扉とわくわくタイムの4ページ
で構成しています。わくわくタイムには、「なぜだろう？」
「ふしぎだな」「楽しそう！」と児童の心を揺さぶり、
「やってみたい」という思いや願いを高める学習活動
を設定しています。一人ひとりの児童が思いや願いを
高め、学びの見通しをもつことで、その後の主体的
な活動へ導きます。

わくわくタイム



54

55

授業のイメージがわかる

教室環境の見える化で 授業のイメージがわかる！

協働的な学びを促す教室環境の一例として、児童の気付きを可視化・共有するための ICT や板書の活用、学習場面に応じた机のレイアウトなどをイラストで具体的に表現しています。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業計画や授業改善の手がかりとしてご活用いただけます。

1 ICT の効果的な 活用例がわかる！

タブレットで撮影した写真や動画を見せ合ったり、電子黒板で共有したりする多様な ICT 活用の例を掲載しています。これまでの実践に ICT をプラスしたハイブリットな活動を例示することで、学びをより深めたり、広げたりする授業の参考となるようにしています。



▲上巻 p.26



▲下巻 p.25

上巻 p.72

み

見つけた あきをつたえよう

おしえて あげるよ、見つけた あき。

いきいき

めあて 見つけた あきをつたえよう

見つけたもの

- どんぐり → みどりからちやいろ。みが大きくなった。
- サクラのは → みどりから赤やオレンジ。がさがさしている。
- カマキリのたまご → なつにはなかった。

なつとのちがい

あか 赤や きいろのはっぱが あったよ。

かたが ちがう どんぐりを 見つけたよ。

みどりの ままのはっぱも あったね。

72



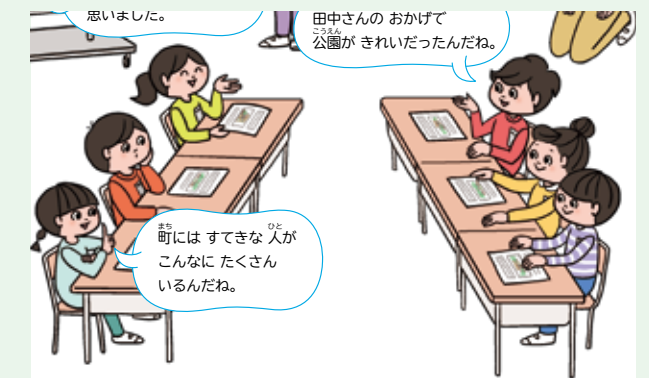
なるほど！
こんなふうに授業をすれば
よいですね！

2 深い学びにつながる 板書例がわかる！

写真やイラスト、思考ツールなどを使って、児童の思考を可視化・構造化する板書の例を豊富に掲載しています。

3 協働的な学びを促す 机のレイアウトがわかる！

協働的な学びを促すために適した机のレイアウトを、活動の内容やねらいを踏まえて掲載し、授業作りのヒントとしてご活用いただけるようにしています。



▲下巻 p.86



▲下巻 p.53

具体的な支援が見える

教師の支援の見える化で 主体的・対話的で深い学びを実現！

1 教師の声かけ

児童の思考を促したり、学習を方向付けたり、気付きの質を高めたりする教師の声かけの例を豊富に掲載しています。

安心感につなげる

こまったことがあったら
せんせいに おしえてね。

思考を促す

どうすれば かざ車は
よく まわりますか？

称賛する

野さいと いっしょに
みんなも せい長
したんだね。

経験を引き出す

ようちえんや ほいくしょでは
どんな あそびをしたかな？

説明する

つたえたい あい手や ないように
合わせて つたえる 方ほうを
えらぶと いいですよ。

価値付ける

みんなが がんばると
よろこんで くれる 人が
いるんだね。



2 教師の立ち振る舞い

児童の目線の高さに合わせて話したり、グループでの活動を見守ったりする教師の立ち振る舞いの例を具体的に示しています。



上巻 [小寸] p.8 ▶

3 板書例

めあて おせわをして わかった ことや かんじた ことを 話そう

<アゲハ>



・あしの 数は 6 本。
・何回も すがたが
かわった。
・羽の もようが きれい。

<トンボ>



・やごから トンボに
へんしんした。
・食べる ものが かわった。
・目が 大きくて かっこいい。

<ダンゴムシ>



・しめっている
場所が すき。
・キュウリも 食べる。
・さわると 丸く なるのが
かわいい。

<カエル>



・いつも 目が
うごいている。
・高く ジャンプ
できるのが すごい。

みんなに ひみつを
つたえたい



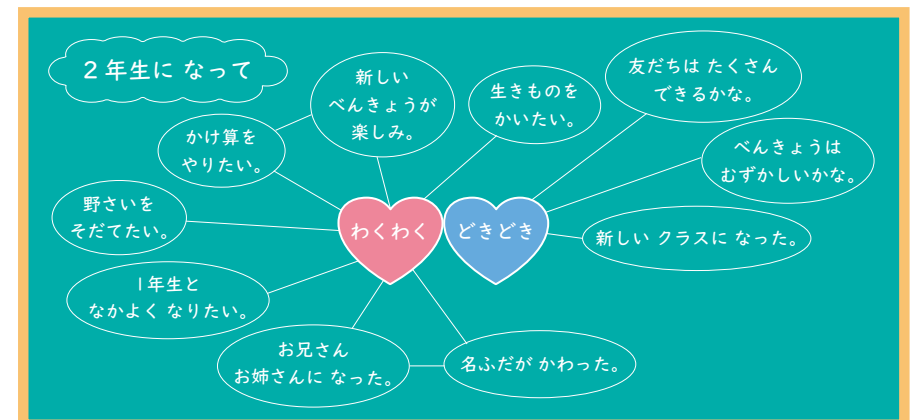
・げき
・紙しばい
・クイズ
・新聞
・しゃしん
・どう画

▲下巻 p.53

児童の思考を可視化・構造化する板書例が授業の参考になりますね！



▲下巻 p.4



4 合科的・関連的な指導

生活科と他教科等との連携を図ることで、指導の効果が高まるように工夫しています。

また、他教科と関連がある活動には、紙面の適所に『**合科的・関連的な学習を示すマーク**』を付けています。



▲上巻 p.60

さんすう



おんがく



こくご



ウサギは ^{みみ} 耳を
ぴくぴく させるよ。

▲上巻 p.60

評価をイメージできる

育てたい資質・能力が 具体的な姿で見える！

ぐんぐんページには、『できるかな できたかな？』コーナーを設定し、単元の振り返りの視点を**資質・能力の3つの柱**に即して整理しました。
児童にとっては自己評価の例になるとともに、教師にとっては、育てたい児童の姿がわかりやすく、指導や評価の手がかりとして活用できるように工夫しています。

上巻 p.60-61 ▶



できるかな できたかな？

資質・能力の3つの柱

知識及び技能の基礎

思考力、判断力、
表現力等の基礎

学びに向かう力、
人間性等

生きものの とくちようが わかったよ。



生きものの 気持ちを かんがえて
さわったり おせわしたり できたよ。



生きものと なかよし に なったよ。



児童にとってよいこと！

自己評価の
視点に

教師にとってよいこと！

指導と評価の
手がかりに

「生活科の評価がわかりにくい…」 という声にお応えしました！

指導と評価の一体化を行うためには、単元の目標を明確にするとともに、評価計画を立て、評価規準を具体的な児童の姿として表しておくことが大切です。
『できるかな できたかな？』は単元を通して身に付けてほしい資質・能力について、具体的な児童の姿を示すことで、評価の手がかりとして、また、指導計画を考えるうえで、目指す児童の姿の参考例としてご活用いただけるようにしています。

+α QR コンテンツで授業をサポート

授業で活用できるコンテンツが充実しています！

紙面に QR コードを掲載し、学習内容と関連する情報をタブレット端末やスマートフォンから閲覧できるようにしました。児童の学習意欲を高めるとともに、授業をサポートするコンテンツを豊富に収録しています。

動画



音声



クイズ



スライドショー



ウェブリンク



詳しく見る 本誌 p.38 へ

+α 指導書で授業をサポート

授業づくりに役立つ資料が豊富です！

日々の授業はもちろん、授業研究や教材研究でもご活用いただけるように、指導計画や評価などを丁寧に示しているほか、指導のポイントや留意点など、授業づくりにも役立つ内容を記載しています。



詳しく見る 本誌 p.76 へ



\\ 実体験をより豊かに広げ、もっと楽しくする! //

教科書 × QRコード

1人1台端末が整備され、生活科でもICT機器を活用する機会が多くなっています。一方で、忘れてはならないのが、生活科の学習では「実体験」が大切ということです。啓林館では、「**児童の「実体験」をより豊かにするためのICT機器の活用**」という視点を大切に、低学年の児童が楽しく学べるQRコンテンツを豊富にご用意いたしました。



啓林館のQRコンテンツ

日々の授業で活用する!

児童の「もっと知りたい」をサポートする!

学びウェブ



デジタルたんけんブック



どんなコンテンツ?

動画・音声・スライドショー・クイズ・ウェブリンクなどの**コンテンツをまとめた啓林館の自社サイト**です。

電子ブック形式の**デジタル図鑑**です。

どこのQRコードから使用できるの?



教科書紙面のQRコードを読み取ると使用できます。

詳しくは40ページへ▶



教科書の裏表紙のQRコードを読み取ると使用できます。

詳しくは42ページへ▶



使ってみる!



動画 (48本の動画をご用意しました)

種のまき方



アサガオやホウセンカの種のまき方を丁寧に解説しています。種まきの授業前に活用すると児童の理解が深まります。

アサガオの発芽



アサガオの芽が出る様子を動画で見ることができます。芽が出る喜びがより一層高まります。

アサガオの開花



アサガオが開花する様子を動画で見ることができます。自然のすばらしさを実感することができます。

手洗いの方法



手の洗い方を丁寧に解説しています。写真や絵では伝えにくいポイントも動画なら理解しやすくなります。

昔遊び



けん玉、コマ、メンコ、あやとりの遊び方を解説しています。技の習得の助けになります。

チョウの羽化



アゲハが羽化する様子を動画で見ることができます。

※さなぎになる様子の動画もご用意しています。

おもちゃの作り方



おもちゃの作り方を丁寧に解説しています。

雨の日の不思議



雨の日の音やにおい、生き物などを楽しく紹介しています。

クイズ

野菜クイズ



野菜の断面のクイズです。理科につながる楽しいコンテンツです。

音声 (21本の音声をご用意しました)

虫の声



スズムシやコオロギなどの秋の虫の声を聴くことができます。

セミの声



アブラゼミやクマゼミなどのセミの声を聴くことができます。

スライドショー

生き物の育て方



生き物の育て方を紹介しています。ダンゴムシ、バッタ、コオロギ、うさぎ、モルモットなど全部で16種類の生き物を紹介しています。

野菜の育て方



野菜の育て方を紹介しています。トマト・ナス・キュウリ、ピーマンなど全部で6種類の野菜を紹介しています。

ウェブリンク

おうちでもっと生活科



長期休みや臨時休校の際に、家庭でも生活科の学習に取り組めるように、ワークシートのPDFデータをダウンロードできるようにした啓林館の自社サイトです。

どんぐりずかん



どんぐりの見分け方について詳しく解説した啓林館の自社サイトです。

わくわくSDGs



教科書に掲載されているSDGsの内容をさらに深めるための資料を集めた啓林館の自社サイトです。

全部で
120
コンテンツ

デジタルたんけんブック のご紹介



使ってみる!



デジタルたんけんブックは、「わくわくせいかつ上」「いきいきせいかつ下」の教科書に付随する電子ブック形式のデジタル図鑑です。教科書の裏表紙のQRコードから使用することができます。

児童の「やってみたい」「見てみたい」「確かめたい」という意欲を刺激する楽しい図鑑で、豊かな体験と主体的な学びをサポートします。

多様なテーマの楽しい図鑑!

 じゅんぴ めいじん 活動の準備	 しぜん はかせ 季節の生き物	 さいばい はかせ 栽培
 りょうり はかせ 食育や調理	 くらし はかせ 町や暮らし	 ぼうさい はかせ 防災

1

豊かな体験を支える

児童の「やってみたい」「見てみたい」「探しに行きたい」という意欲を高め、豊かな体験活動へ導く多様な資料を掲載しています。

2

主体的な学びを支える

1人1台端末時代だからこそ叶えられる1人1つの電子ブック形式のMY図鑑で、児童の「知りたい!」の瞬間を逃しません。知りたいことを自分で調べる経験を重ねることで、3年生以降への学びの素地にもつながります。

3

低学年児童も使いやすい

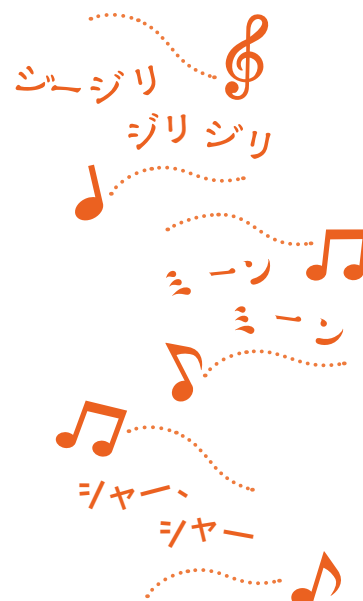
ひらがな・カタカナ表記で、低学年の児童も楽しく学べる図鑑です。ログインの必要がなく、QRコードを読みとるだけで簡単に使用することができます。



▲ p.12-13 はるのしよくぶつ

生活科が
もっと
楽しくなる!

たっぷり
78 ページ!



▲ p.30-31 なつのいきもの

QR
特集



このマークを押すと
動画を見ることができます!



このマークを押すと
音を聞くことができます!



このマークを押すと
詳しく学ぶことができます!

詳しくは
こちら!

内容解説資料
デジタル
たんけんブック編 ▶



デジタルたんけんブックについて
詳しく解説した資料をご用意しています。
ご入用の方は、啓林館までお問い合わせ下さい。

児童の学びが広がる! 深まる! QRコンテンツの 魅力&こだわり

QRコンテンツは、児童1人ひとりがそれぞれの興味・関心に合わせて活用できるため、個別最適な学びが求められる時代において、魅力的な学習材のひとつです。動画・音声・スライドショー・デジタル図鑑などの様々なQRコンテンツをうまく活用することで、紙の教科書の限界を超えて、学びの幅を大きく広げることが可能になります。ここでは、数あるコンテンツの中から、おすすめを2つご紹介します。

早稲田大学 教授
田中博之 先生



驚きと感動を何度でも 【動画】アゲハの羽化

アゲハは児童にとって身近な昆虫ですが、羽化は明け方に行われることが多く、実際にその様子を見ることはなかなかできません。そんな“日常生活ではなかなか見られない様子”を児童と共有する際は、動画コンテンツがおすすめです。

動画であれば、写真では伝えきれない生命のすばらしさや不思議さを感じられるため、児童の驚きや感動はより大きなものになります。動画をきっかけに、生き物への興味・関心や探究心が高まることも期待できるのです。



Point

動画の冒頭にある“予想”のステップで児童の知的好奇心をくすぐります。

「やってみたい!」を大切に 【動画】おもちゃの作り方

おもちゃ作りの動画は、“児童の学びやすさ”と“教師の教えやすさ”の両方を支えるコンテンツです。

児童にとってのメリットは、自分の作りたいおもちゃの作り方を、何度も繰り返し再生したり、一時停止して細かく確認したりすることができることです。自分のペースで、とことん改善・修理・探究することで、深い学びへの意欲も継続して高まっていくことが期待できます。

教師にとってのメリットは、指導に余裕ができ、気付きの質を高める適切な声かけや支援をより丁寧に行うことができるようになることです。動画の通りに作るのではなく、あくまでも「動画は参考資料である」ことを念頭におきながら、動画をうまく授業に取り入れることで、より豊かな授業づくりにつながります。



Point

低学年の児童にもわかりやすい丁寧な解説です。

啓林館の教科書には、120本以上のQRコンテンツが収録されています。これらのコンテンツをうまく活用することで、活動への意欲を高めながら、自分で探究したり、学びを深めたりすることが可能になります。2024年以降の児童の学びが、より豊かに広がっていくことを期待しています。

編集上の工夫や配慮

キーワード1	資質・能力の3つの柱	46
キーワード2	カリキュラム・マネジメント	48
キーワード3	衛生面、感染症対策	50
キーワード4	臨時休校などへの配慮	51
キーワード5	防災教育・安全教育	52
キーワード6	SDGs、環境教育	53
キーワード7	インクルーシブ教育	54
キーワード8	言語能力の育成	56
キーワード9	情報モラル教育	57
キーワード10	社会に開かれた教育過程	57
キーワード11	国際理解	58
キーワード12	伝統や文化に関する教育	58



育成を目指す「資質・能力の3つの柱」を踏まえた構成で生活科の学びをサポートします。

知識及び技能の基礎

● 学びのヒント

学習に必要な基礎知識や、学びを深めるためのポイントなどを掲載しています。



▲上巻 p.57

● こんなとき どうしよう

あいさつやマナー、安全上の注意などの基本的な生活習慣や知識及び技能、健康や安全に関する知識が確かに身に付くように工夫しています。

● 3つのずかん ▶ 本誌 p.14-17

『びっくりずかん』『がくしゅうずかん』『デジタルたんけんブック』の3つのずかんを収録し、豊富な資料で学びをサポートします。



思考力、判断力、表現力等の基礎

● 3段階構成 ▶ 本誌 p.8-9

各単元を単元導入「わくわく」、主な活動「いきいき」、振り返り「ぐんぐん」の3段階で構成することで、低学年の学びの基礎や探究的な学び方が身に付くように工夫しています。

● 学びのキーワード ▶ 本誌 p.18

「見付ける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」などの気付いたことをもとに考えるための多様な学習活動を例示し、気付きの質が高まるように配慮しています。



● 豊かな表現力を育む ▶ 本誌 p.56

言葉、絵、動作、劇化、ICT 活用など、多様な表現活動や交流活動を掲載し、思考を深め、豊かな表現力が身に付くように配慮しています。

学びに向かう力、人間性等

● できるかな できたかな？

単元末には、学習を通して気付いたこと、わかったこと、できるようになったことなどを主体的に確かめることができるように、学習の振り返りの視点を例示しました。

● 児童にとって

自己評価の例になります。

● 教師にとって

育てたい児童の姿がわかり、指導と評価の手がかりとして活用できます。

● ひろがる きもち

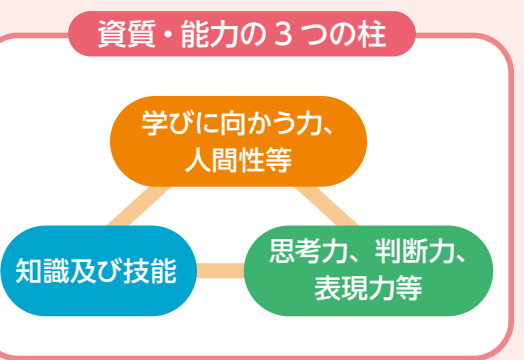
学習を通して学んだことをさらに深く学ぼうとしたり、生活に生かしたりしようとする姿を示しています。



学習指導要領にピッタリ！

資質・能力の3つの柱に即した単元の振り返り

各単元のぐんぐんページには、振り返りの視点を資質・能力の3つの柱で整理した『できるかな できたかな？』のコーナーを設定しています。単元を通して育てたい児童の姿の具体例が見えることで、指導と評価の手がかりとしてご活用いただけるように工夫しています。



カリキュラムデザインの参考になる
他教科等とのつながりの例を豊富に掲載しています。

児童の発達の段階や特性を踏まえて、幼児教育・他教科等とのつながり・中学年以降への接続に配慮しています。生活科と他教科等との連携を図ることで、指導の効果が高まり、低学年教育全体が充実します。

国語科

- 作文
- 手紙
- 招待状
- 俳句
- 新聞
- 説明文

など

▲上巻 p.60 ▶




算数科

- 時刻と時間
- 仲間集め遊び
- 数の数え方

など

▲上巻 p.31 ▶



図画工作科

- 名刺作り
- 絵
- おもちゃ作り

など

▲上巻 p.61 ▶



幼児教育

- 歌遊び
- 手遊び
- 折り紙
- 読み聞かせ
- 遊具遊び

など

▲上巻 [小寸] p.9 ▶



授業のヒントになりそうです!



生活科

わくわく せいかつ 上

いきいき いかつ 下

啓林館



体育科

- 体を使った表現活動 (表現遊び)

▲上巻 p.60 ▶



総合的な学習の時間

- 協働的な学習活動
- 気付いたことをもとに考える活動

など

▲下巻 p.90 ▶



社会科

- 絵地図
- 町の人へのインタビュー
- 季節ごとの年中行事
- 地域の伝統行事

など

▲下巻 p.39 ▶



理科

- 定点観測のイラスト
- 動植物の観察
- 空気やゴムを使ったおもちゃ作り

など

▲下巻 p.67 ▶



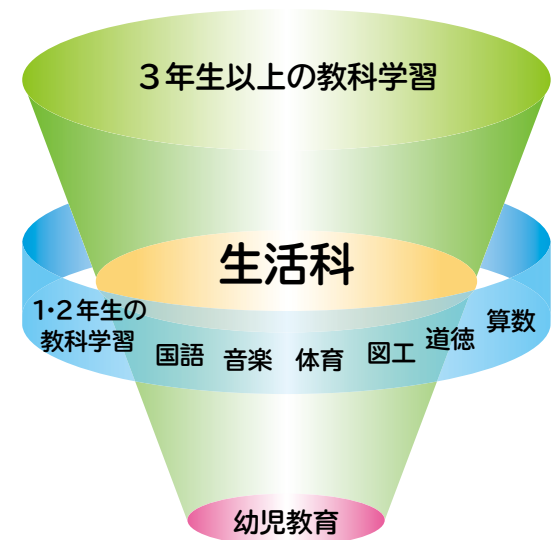
道徳科

- 道徳科の学習に関する紙面

音楽科

- 音遊び
- 歌やダンス

など



編集上の工夫や配慮

衛生面への配慮や感染症対策に関する丁寧な記述で、
児童が安心して使用できます。

健康

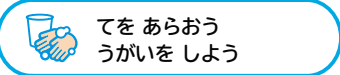
新型コロナウイルスをはじめとした感染症への対策として、手洗いや換気などの予防策を示した『けんこうにすごそう』の資料を新設しました。



▲上巻 [小寸] p.14-15

手洗い・うがいマーク

飼育・栽培活動や、町探検などの教室外での活動ページには、『注意マーク』を掲載し、児童が主体的に手洗い・うがいを行うことができるようにしています。



感染症対策

町探検では、必要に応じてマスクの着用を検討できるようキャラクターが助言しています。



下巻 p.37 ▶

ご指導される先生方へのメッセージ

高齢の方と関わる活動の場面では、感染症流行時における対策への注意喚起や活動内容の変更を促すなど、柔軟な対応が行えるように配慮しています。

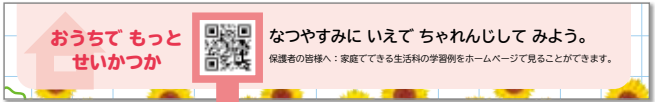
ご指導される先生方へ：感染症が流行している時期においては、感染症対策を行ったうえで交流したり、オンラインを活用して交流したりするなど、各自治体の方針に従い、柔軟にご対応ください。

▲上巻 p.108

臨時休校などが生じた場合でも学びを止めない工夫をしています。

おうちでもっとせいかつか

臨時休校などが生じた場合でも、家庭で生活科の学習活動に取り組めるように、学習活動の例やワークシートをQRコードからダウンロードできるようにしています。



▲上巻 p.48



QR コンテンツ

QR コンテンツとして『学びウェブ』や『デジタルたんけんブック』を収録し、臨時休校などが生じた場合でも、家庭学習で活用できるようにしています。



詳しく見る 本誌 p.38 へ



適切な行動や基本的な知識が身に付くように
防災教育・安全教育に関する資料の充実に配慮しています。

自然災害、交通災害、人的災害

自然災害、交通災害、人的災害の3つの視点から、適切な行動や基本的な知識が身に付くようにしています。

ひなんの やくそく

ひなんの やくそく おはしも

おさない はしらない しやべらない もどらない

じしん

きょうしつ ろうか 校庭

つくえの下にかくれる。 まどからはなれる。 たてものやへいからはなれる。

つなみ 火 大雨

ちかくて たかい ばしょに ひなんする。 たてもの 中では ひくく かがんで げる。 川や ようちから ちかづかない。

▲上巻 p.127

しらないひとに こえを かけられたら いかのおすし

16 いかに のらない おおごえを だす すく ける しらせる

▲上巻 [小寸] p.16

QR コンテンツ

交通安全について、自分事として考えられる動画をご用意しています。

どんなきけんがあるかな？

熱中症への配慮

気温が高い時期における屋外活動の場面では、『注意マーク』や『ご指導される先生方へのメッセージ』で、熱中症への注意を促しています。

ねっちゅうしょうに ちゅういしよう

アレルギーへの配慮

飼育単位では、学習をはじめる前に、動物や昆虫などのアレルギーについて確認できるように配慮しています。また、マヨネーズ容器などを使用する可能性がある場面にも、食品アレルギーへの注意喚起を行っています。

危険な生き物への注意喚起

学習をはじめる前に、危険な生き物を確認できるように『気をつけよう』のコーナーを設置しています。

気をつけよう

ぎんなん ツタウルシ

▲上巻 p.71

地球の問題を自分事として捉えるきっかけとなる
SDGsや環境教育の内容が充実しています。

SDGs

環境問題や食糧問題などを自分事として捉えるきっかけとして、自分自身の生活の工夫、自分と自然との関わり方、身近な社会の工夫について考える資料を掲載しています。

QR コンテンツ

わくわくSDGs (教育支援サイト)

SDGsを取り上げた特設サイトで、さらに詳しく学ぶことができるようにしています。

地きゅうの 未来を 考える

SDGsって なんだろう？

エス・ディー・ジーズ (SDGs) という言葉を聞いたことはあるかな？ エス・ディー・ジーズとは「17の目標があるんだよ。わたしたちに 何が できるか 考えて みよう。」

町や 生活の中にも SDGsの 取り組みがあるよ！

ごみの 分別や リサイクル

ぼうさいそうこ

生きものを大切に

風力はつ電

水を大切に つかおう。

つかわない ときは 電気を けそう。

どんな ことができるかな？

▲下巻 p.114-115

生態系への配慮

飼育単位では、外来生物であり、地域の生態系を脅かすアメリカザリガニを飼育対象として掲載していません。

QR コンテンツ

外来生物との正しい向き合い方を学べるコンテンツをご用意しています。

外国から 来た 生きもの

アメリカザリガニを そだてる ときの やくそく

① 前に 先生や 大人の 人と かいつづけるか そうだんしよう。 ② 外に ながさないように しよう。 ③ ふやさないように オスと メスは 分けて かおう。

アメリカザリガニ

保護者の皆様・先生方へ

アメリカザリガニなどの外来生物は、生態系に大きな影響を与えることが明らかとなっています。この教科書では、生態系を守り、自然環境を大切にすることの重要性や外来生物との正しい向き合い方を学ぶという観点から、アメリカザリガニを飼育対象として掲載していません。学校や家庭で飼育する場合は、野外に放したり増やししたりせず、最後まで大切に飼育してください。

▲下巻 p.57

特別支援教育の専門家の監修のもと、
すべての児童が学びやすい教科書を目指しました。

(監修：柘植雅義 筑波大学教授、LITALICO 研究所)

書体への配慮

本文などの基本的な文字のフォントは、UDフォントを採用し、視認性と可読性を高めています。

UD FONT



デザインへの配慮

色覚の個人差を問わず、紙面の内容が判別しやすい配色・デザインを用いています。メディア・ユニバーサル・デザイン協会 (MUD) による認証を申請中です。



わくわく、いきいき、
ぐんぐんの3段階の展
開を示すツメ (紙面左
上) は、配色に配慮
しています。

学びやすく教えやすい基本構成

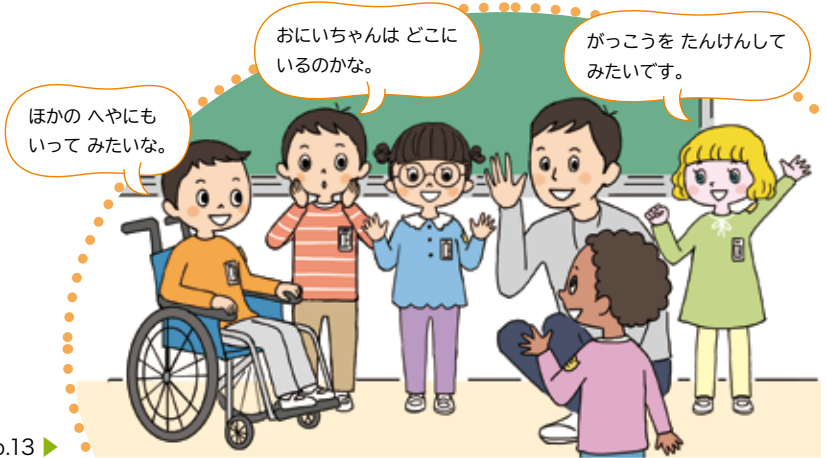
各紙面の構成要素は役割と掲載位置を原則として固定しています。

Diagram showing the layout of a textbook page with various components:

- 小单元名** (Small Unit Name): 具体的な学習活動 (Specific Learning Activity)
- 本文** (Main Text): 活動の見通し (Overview of the Activity)
- 各種コーナー** (Various Corners): 安全、公共のマナーなど、生活上に必要な知識・技能 (Safety, public manners, etc., knowledge and skills necessary for daily life)
- 衛生面・安全面への配慮** (Considerations for Hygiene and Safety): アイコンでわかりやすく掲載 (Posted clearly with icons). Examples: ねっちゅうしようにちゅういしよう (Please use chopsticks properly), 手をあらおううがいをしよう (Please wash your hands and gargle).
- カード** (Cards): 具体的なカードの例示 (Examples of specific cards).
- めくり言葉** (Turn-of-page Words): 活動の中で生まれた気づきや、次の活動への思いや願い (Insights born in the activity, or thoughts and wishes for the next activity).

人権、ジェンダー、福祉

写真やイラストは、性別によって服装や役割が固定的にならないように配慮するとともに、幼児や高齢者、外国の人、障がいのある方など多様な人々とこたわりなく関わる様子を示しています。



上巻 [小寸] p.13

ソーシャルスキルトレーニング

上巻 p.126『気持ちを伝えよう』では、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを考えたりするためのソーシャルスキルトレーニングに関連する資料を掲載しています。

動画コンテンツの字幕

聴覚障がいをもつ児童も理解しやすいように、字幕のON/OFFを切り替えることができるようにしています。



その他の工夫

- デジタル教科書** → 本誌 p.80
音声読み上げ、白黒反転。
- マルチリンガル教科書** → 本誌 p.82
教科書を多言語で表示、音声読み上げ。
- 拡大教科書** → 本誌 p.82
教科書の文字を大きくしたもの。

こだわって
制作しました!

子どもの発達支援や学習支援などを行っている (株) LITALICO の監修のもと、教科書のユニバーサルデザイン化をめざして制作しました。

Q 教科書に求められる
「インクルーシブ教育」とは?

A 障がいの有無によらず、10人子どもがいれば10通り、その子にあった学び方があります。多様な子どもがいる中、教科書にどこまで標準化とカスタマイズの折り合いを求めるかは難しい問題ですが、色やフォント、情報提示の仕方を工夫することは、全ての子どもたちにとって「学びやすさ」につながります。



発達の段階や他教科等との関連を意識しながら
多様な言語活動を設定しています。

言葉、絵、動作、劇化、ICTの活用など多様な表現活動を、発達の段階や他教科等との関連、中学年以降への接続などに配慮しながら段階的に設定することで、思考を深め、豊かな表現力が身に付くように工夫しています。



あか
キュウリの 赤ちゃんは
ちい
小さくて
かわいかったです。



ルールやマナー

ICT を活用する際のルールやマナーとして、タブレットの管理や、インターネットを使う場合の注意点などを掲載しています。

インターネットをつかおう

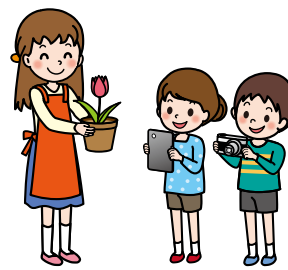
- ①しらべたい ことを せい理しよう。
 - ②インターネットの けんさくページに キーワードを 入れて けんさくしよう。
- ！
・おとな ひと
・大人の ひと といっしょにつかおう。
・わるい じょうほうに きをつけてよう。
・じょうほうが 正しいか かくにんしよう。

▲下巻 p.118

プライバシーへの配慮

インタビューなどで写真を撮影する際に相手の許可を得ることや、家庭での活動を撮影する際には保護者の許可を得ることなど、プライバシーについての注意喚起を行っています。

しゃしんや どう画を とろう



あい手 に さつえいして いいか
聞いてから さつえいしよう。

！
・みんなに つたえたい ことを
かんが えて さつえいしよう。
・自分の 目でも よく 見てね。

▲下巻 p.113

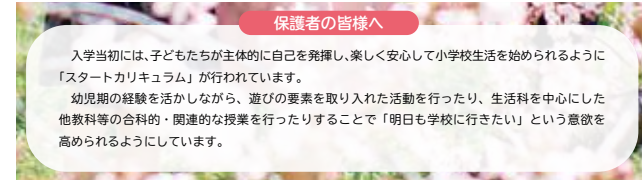
！ いえでの かつどうを しゃしんに とる ときは、いえの ひと にとっても いいか たしかめましょう。

▲上巻 p.89

家庭との連携

保護者の方へのメッセージ

家庭との連携が重要な内容には、保護者の方へのメッセージを記載しています。



▲ 上巻 [小寸] p.1

地域との連携

地域の方と関わる活動や学校での出来事を通して、自分の住む町が好きになり、地域の一員として生活をより良くしようとする姿勢を示しています。



多様な家庭への配慮

写真やイラストは、児童の多様な家庭環境に配慮しています。また、家族単元や成長単元では、児童の多様な家庭環境に十分配慮して単元を構成しています。



キーワード11 国際理解

外国人の写真やイラスト

上巻・下巻ともに、写真やイラストに外国人の児童を設定し、ともにいきいきと活動する様子を示しています。



外国のあいさつ・文字

『デジタルたんけんブック』には、外国のあいさつや外国語表記の看板などを掲載しています。



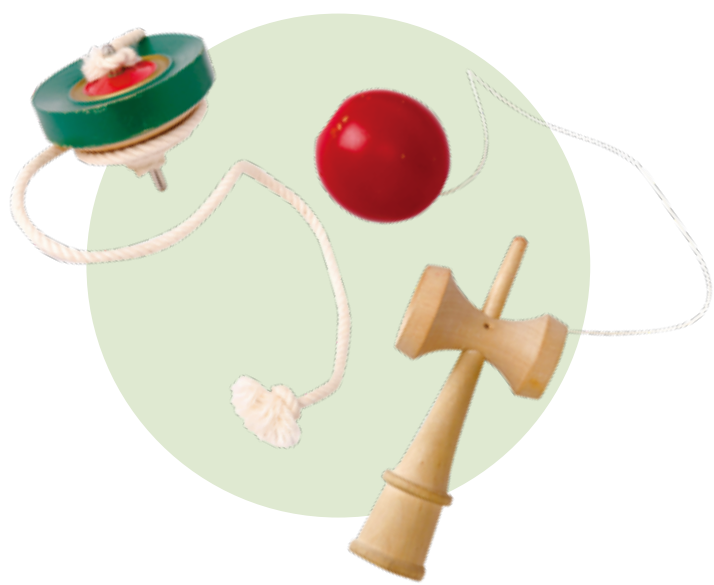
▲ p.68-69 せかいとつながろう



キーワード12 伝統や文化に関する教育

教科書の工夫

上巻には、伝統的な遊び(けん玉、こま、あやとりなど)を楽しむ活動を、下巻には、季節の行事や各地の伝統行事を例示しています。



QR コンテンツの工夫

『デジタルたんけんブック』には、地域の伝統野菜や祭り、行事食などを掲載しています。



▲ p.54-55 きせつのごちそう



2024 年度用

わくわくせいかつ上
いきいきせいかつ下

観 点 別 特 色 一 覧 表

1 教育基本法との関連 p.60	9 今日的な教育課題 p.68
No.1 第1号	No.36 防災教育・安全教育
No.2 第2号	No.37 熱中症対策
No.3 第3号	No.38 衛生面
No.4 第4号	No.39 健康教育、生活習慣
No.5 第5号	No.40 アレルギー
2 学習指導要領との関連 ～生活科の目標～ p.61	No.41 食に関する教育
No.6 具体的な活動や体験	No.42 伝統や文化
No.7 見方・考え方	No.43 国際理解
No.8 自立し生活を豊かにしていくための資質・能力	No.44 持続可能な開発目標 (SDGs)、環境教育
No.9 知識及び技能の基礎	No.45 言語能力
No.10 思考力、判断力、表現力等の基礎	No.46 情報活用能力
No.11 学びに向かう力、人間性等	No.47 問題発見・解決能力
3 学習指導要領との関連 ～内容の選択・取り扱い～ p.63	No.48 多様な他者と協働すること
No.12 主体的・対話的で深い学び	No.49 キャリア教育
No.13 2学年間を見通した学習活動	No.50 社会に開かれた教育課程、家族や地域社会との連携
No.14 学習の見通し・振り返り	No.51 長期休暇や休日
No.15 気付きの質を高める	No.52 働き方改革や指導経験が浅い教師への支援
No.16 見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫する	10 すべての児童の学びやすさ、 インクルーシブ教育 p.71
No.17 個別最適な学び	No.53 ユニバーサルデザイン
No.18 協働的な学び	No.54 特別支援教育
No.19 評価	No.55 人権や福祉、ジェンダー
4 ICT の活用 p.65	No.56 多様な家庭環境
No.20 ICT の活用	11 構成・配列 p.71
No.21 情報モラル、ルールやマナー	No.57 教科書の構成・単元の配列
No.22 QR コード	No.58 単元の内容・分量
5 ウィズコロナ・アフターコロナ p.65	No.59 学校や地域の独自性
No.23 感染症対策	No.60 2学期制
No.24 臨時休校	No.61 複式学級
6 カリキュラム・マネジメント p.66	12 表記・表現 p.72
No.25 合科的・関連的な指導	No.62 表記・表現
No.26 道德教育	No.63 漢字・カタカナ
No.27 STEAM 教育	No.64 写真・イラスト
7 幼児教育とのつながり p.66	No.65 ユニバーサルデザイン
No.28 スタートカリキュラム	13 用紙・印刷・製本 p.72
No.29 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	No.66 鮮明な印刷
No.30 架け橋プログラム	No.67 環境への配慮
No.31 幼保小連携	No.68 判型
8 中学年以降へのつながり p.67	No.69 製本や加工
No.32 中学年以降へのつながり	14 個人情報の取り扱い p.73
No.33 理科へのつながり	No.70 個人情報の取り扱い
No.34 社会科へのつながり	
No.35 総合的な学習の時間へのつながり	

学習指導要領の内容との関連 p.73

観点別特色一覧表はデータのご用意もごさいます。
教科書紹介Web ページよりダウンロードください。
https://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/sho_r6/seikatsu/



特色
一覧表

1 教育基本法との関連

No.	観点	啓林館の特色	具体例
1	第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	①身近な生活に関わる見方・考え方を十分に生かしながら、 主体的・対話的で深い学び を通して、幅広い知識と教養を身に付けられるように配慮されている。	教科書全体を通して
		②自然災害、交通災害、人的災害の3つの視点から、適切な行動や基本的な知識が身に付くように 防災教育・安全教育 に関する資料の充実に配慮されている。	上[小寸] p.16 / 上 p.1,14-15,37,49,99,127 下 p.33,49,112,125
		③上下巻ともに『 がくしゅうずかん(巻末資料) 』に、学習に関連する様々な資料を掲載し、主体的に学習する態度を養いながら、 幅広い知識と教養 が身に付けられるように配慮されている。	上 p.118-127 下 p.110-128
		④相手や状況に応じて適切な接し方をするなど、 豊かな情操と道徳心 を養えるように配慮されている。	教科書全体を通して
		⑤自然や生き物と接したり、おもちゃを作ったりする中で、その不思議さや違い、性質に気付くことができるように配慮されている。	教科書全体を通して
2	第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	①学校や家庭、地域の中で、 自分の役割 を見出し、自分の役割を積極的に果たせるように配慮されている。	教科書全体を通して
		②『 びっくりずかん(ビジュアル図鑑) 』や『 がくしゅうずかん(巻末資料) 』、『 デジタルたんけんブック(QRコンテンツ) 』などの豊富な資料により、自分の思いや願いに合わせて学びを広げたり、深めたりできるようになっており、 創造性を培い、自主および自律の精神を養う ことができるようになっている。	<div> <div> <div>■ びっくりずかん</div> <div>上 p.18-19,34-35,50-51,78-83,106-107</div> <div>下 p.10-11,58-59,74-75,98-99</div> </div> <div> <div>■ がくしゅうずかん</div> <div>上 p.118-127 下 p.110-128</div> </div> <div> <div>■ デジタルたんけんブック</div> <div>https://k-qr.com/4l4a00001</div> </div> </div> 
		③下巻の『 ステップブック～みらいにむかって～ 』には、将来の夢に関するイラストが掲載されており、 キャリア教育 の視点が丁寧に扱われている。	<div> <div>■ ステップブック</div> <div>下[小寸] p.1-7</div> </div>
3	第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	①性別や国籍による役割を固定せず、 児童一人ひとりが他者を尊重 しながら、互いに協力して学びを深めていけるように配慮されている。	教科書全体を通して
		②1年間の活動を振り返る場面では、ほめたり、共感したりする多様な学習活動を掲載し、自身の成長に気付くとともに、 互いを認め合うことができる ように工夫されている。	上 p.84-91 下 p.100-109
		③地域社会の公共物・公共施設に目を向け、正しく安全に、大切に利用できるように配慮されている。	下 p.40-43
4	第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	①上下巻それぞれにおいて栽培活動が扱われており、 命のつながりを実感 できるように配慮されている。	上 p.20-35 下 p.12-27
		②上下巻それぞれにおいて飼育活動が扱われており、命の尊さや、生育環境に目を向けるなど、命と適切に関わることができるように配慮されている。	上 p.52-63 下 p.44-57
		③生き物探しや飼育活動においては、 環境の保全 や 外来生物 などに配慮されている。	教科書全体を通して
5	第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	①伝統的な遊びや各地の伝統行事に目を向けるなど、 地域や我が国の伝統を愛する ことができるように配慮されている。	上 p.108 下 p.10-11,58-59,74-75,98-99
		②他国の人との関わりや遊びを示したり、外国人のクラスメイトを設定したりすることで、仲良く関わり合うことができるように配慮されている。	教科書全体を通して
		③ 持続可能な開発目標(SDGs) に関する資料が掲載されており、 国際社会の平和と発展に寄与する 態度が養われるように配慮されている。	下 p.114-115 (地きゅうのみらいを考える)

2 学習指導要領との関連 ～生活科の目標～

No.	観点	啓林館の特色	具体例
6	具体的な活動や体験を通して、学習が展開できるようにになっているか。	<p>①児童の生活圏が学習の対象や場として設定されており、児童が体全体で身近な環境に直接働きかける創造的な学習活動が行えるように配慮されている。</p> <p>②見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどして、対象に直接働きかける学習活動が豊富に紹介されており、具体的な活動や体験の中でさまざまな気づきを得られるように工夫されている。</p> <p>③言葉、絵、動作、劇化、ICT活用など、多様な表現活動や交流活動が豊富に掲載されており、具体的な活動や体験の中で、思考と表現が一体的に繰り返され、豊かな表現力が身に付くようになっている。</p> <p>④ダイナミックな写真や美しい図鑑ページで、児童の興味・関心を喚起し、具体的な活動や体験を促すきっかけになるよう工夫されている。</p>	<p>教科書全体を通して</p> <p>教科書全体を通して</p> <p>上 p.12-13,46,60-61,104-105,116-117 など 下 p.24-25,54-55,70-71,94-97,108-109 など</p> <p>上 p.18-19,34-35,50-51,78-83,106-107 など 下 p.10-11,58-59,74-75,98-99 など</p>
7	身近な生活に関わる 見方・考え方 を生かしながら、思いや願いを実現しようとする展開になっているか。	<p>①全単元を通して、児童が思いや願いの実現に向けて、身近な生活に関わる見方・考え方を生かしながら、人々、社会、自然などの対象といきいきと関わる姿が、写真やイラストで具体的にイメージできるように示されている。</p> <p>②全単元を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かして表現しているようすが、吹き出しや記録カードの記述で示されており、児童が学習活動の中で見方・考え方を発揮することができるように工夫されている。</p>	<p>教科書全体を通して</p> <p>教科書全体を通して</p>
8	自立し生活を豊かにしていくための資質・能力 を総合的に育成できるようにになっているか。	<p>①全単元を通して、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を段階的に獲得していく児童の姿が、写真やイラスト、吹き出しで具体的に示されている。</p> <p>②『ひろがるきもち』コーナーでは、生活科での学びが日常生活に広がり、児童が自立し生活を豊かにしようとする姿が具体的に示されている。</p> <p>③生活上の自立、学習上の自立、精神的な自立の3つの視点から、児童の自立を支える教師の支援として、板書例や言葉かけ、立ち振る舞いが具体的に示されている。</p>	<p>教科書全体を通して</p> <p>■ ひろがるきもち 上 p.13,33,61,77,91,105,117 下 p.9,25,39,55,71,87,97,109</p> <p>■ 板書例 上 p.12,72,90 下 p.4,20,38,53 など ■ 教師の言葉かけ・立ち振る舞いの例 上 p.7,25,38,90,101 下 p.17,24,50,105 など</p>
9	(1) 知識及び技能の基礎への配慮がされているか。	<p>①自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わりなどに気付いている児童の姿が写真やイラスト、吹き出しで具体的に示されている。</p> <p>②『こんなときどうしよう』や『学びのヒント』コーナーなどで、基本的な生活習慣や生活技能、健康や安全に関する知識が着実に身に付くように工夫されている。</p> <p>③『びっくりずかん (ビジュアル図鑑)』や『デジタルたんけんブック (QRコンテンツ)』には、児童の知的好奇心や探究心を喚起する多様な資料が掲載されており、知識の習得をサポートし、気づきの質を高められるようになっている。</p>	<p>教科書全体を通して</p> <p>■ 各種コーナー 上 p.7,9,17,25,37,43,55,99 など 下 p.17,33,41,49,81,83,127 など</p> <p>■ びっくりずかん 上 p.18-19,34-35,50-51,78-83,106-107 下 p.10-11,58-59,74-75,98-99</p> <p>■ デジタルたんけんブック https://k-qr.com/414a00001</p>
		 <p>▲上巻 p.82-83</p> 	
		<p>④『がくしゅうずかん (巻末資料)』には、調べ方・記録の仕方・まとめ方、道具や用具の使い方、安全上の注意などが示されており、基本的な知識及び技能や学び方が身に付くように工夫されている。</p>	<p>■ がくしゅうずかん 上 p.118-127 下 p.110-128</p>
		 <p>▲上巻 [小寸] p.14-15</p>	

2 学習指導要領との関連 ～生活科の目標～ の続き

No.	観点	啓林館の特色	具体例
10	(2) 思考力、判断力、表現力等の基礎への配慮がされているか。	①単元は、導入『わくわく』、主たる活動『いきいき』、振り返り『ぐんぐん』の 3段階で構成 され、思いや願いの実現に向けて繰り返し考えたり表現したりしながら、学びを深めていけるように工夫されている。	 教科書全体を通して
		②見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの 気付いたことをもとに考えるための多様な学習活動の例 が豊富に示されている。また、児童が思考を働かせ、学びの中で判断・表現し、気付きの質を高められるようになっている。	(見付ける) 上 p.10-11 下 p.34-35 など (比べる) 上 p.74-75 下 p.66-67 など (たとえる) 上 p.27 下 p.19 など (試す) 上 p.74-75 下 p.66-67 など (見通す) 下 p.21 など (工夫する) 上 p.74-75 下 p.21 など
		③充実した活動や体験を通して、児童の「伝えたい」という意欲を育て、 体験活動と表現活動が繰り返される ことで児童の気付きの質が高まるように工夫されている。	教科書全体を通して
		④ 言葉、絵、動作、劇化、ICT 活用 など、多様な表現活動や交流活動が掲載されており、思考を深め、豊かな表現力が身に付くようになっている。	上 p.12-13,46,60-61,104-105,116-117 など 下 p.24-25,54-55,70-71,94-97,108-109 など
		⑤児童の気付きの質を高めるための支援として、 教師の言葉かけや立ち振る舞い、学習環境 (ICT 活用、板書活用、机のレイアウトを含む場の設定) の例 が具体的に示されている。	 上巻 p.90 ▶ ■ 教師の言葉かけ・立ち振る舞いの例 上 p.7,25,38,90,101 下 p.17,24,50,105 など ■ 学習環境の例 上 p.12,46,72,90,104,112,114 など 下 p.4,6,20,32,38,53,54,64-65,68,80,86 など
11	(3) 学びに向かう力、人間性等への配慮がされているか。	①全単元を通して、思いや願いの実現に向けて、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかける児童の姿が写真やイラストなどで示されている。	教科書全体を通して
		②『 できるかな できたかな? 』コーナーでは、学習を振り返り、 自らの成長や学びの深まりを実感 することで、満足感・成就感などの手応えを感じ、 次の活動への安定的で持続的な意欲 が育まれるように工夫されている。	 ■ できるかな できたかな? 上 p.13,33,61,77,91,105,117 下 p.9,25,39,55,71,87,97,109
		③『 ひろがるきもち 』コーナーでは、 生活科での学びが日常生活に広がり、児童が自立し生活を豊かにしようとする姿 が具体的に示されている。	 ■ ひろがるきもち 上 p.13,33,61,77,91,105,117 下 p.9,25,39,55,71,87,97,109
		④下巻巻末の『 ステップブック～みらいにむかって～ 』では、2年間の生活科を振り返る活動を通して、 自信と意欲をもって3年生に進級 できるように工夫されている。	■ ステップブック 下 [小寸] p.1-7

3 学習指導要領との関連 ～内容の選択・取り扱い～

No.	観点	啓林館の特色	具体例
12	主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されているか。	①単元は、導入『わくわく』、主たる活動『いきいき』、振り返り『ぐんぐん』の 3段階 で構成され、単元を通して活動が連続しながら発展、深化し、 主体的・対話的で深い学びが実現 できるよう工夫されている。	教科書全体を通して
		②『 めくり言葉 』には、児童の“ 次の活動に向けての思いや願い ”が例示され、 単元を通して学びが連続的・発展的に深まる ように工夫されている。	教科書全体を通して  下巻 p.50-51 ▶
		③適所に、 対話によって自分の考えを広げたり深めたりする場面 が設定されており、深い学びにつながる“ 児童が考える場面 ”が丁寧に示されている。	■ 児童が考える場面 上 p.9,32,72,90,112,116 など 下 p.6,16,24,32,48,53,80,90,92,105 など
		④『 びっくりずかん (ビジュアル図鑑) 』、『 がくしゅうずかん (巻末資料) 』、『 デジタルたんけんブック (QR コンテンツ) 』などの豊富な資料により、児童が自らの思いや願いに沿って、学びを広げたり、深めたりできるようになっている。	■ びっくりずかん 上 p.18-19,34-35,50-51,78-83,106-107 下 p.10-11,58-59,74-75,98-99 ■ がくしゅうずかん 上 p.118-127 下 p.110-128 ■ デジタルたんけんブック https://k-qr.com/4l4a00001 
13	児童の発達の特徴や特性を踏まえ、 2学年間を見通した学習活動 が設定されているか。	①低学年児童の発達の特徴や特性を踏まえて、上巻は主として学校を、下巻は主として地域を活動の場とし、 活動の場が徐々に広がっていく ように配慮されている。	教科書全体を通して
		②低学年児童の発達の特性から、 対象と直接関わり、対象とやりとりする中で、資質・能力が育成される ように、学習指導要領生活編に示された9つの内容がバランスよく配列されている。	教科書全体を通して
		③ 2年間の児童の成長 やその発達の特徴に見られる 空間認識や時間認識などの認知の特性 の違いを意識して、単元が構成・配列されている。	教科書全体を通して
		④記録カードの例は、上巻の冒頭は絵のみ、その後、単元が進むにつれて文章量が多くなっており、記載されている内容も発達の特徴を踏まえて徐々に質の高い気付きに变化している。	教科書全体を通して
14	学習の見通しを立てたり、 振り返り たりする活動ができるようになっているか。	①単元は、導入『わくわく』、主たる活動『いきいき』、振り返り『ぐんぐん』の3段階で構成されており、その3段階での学びの深まりが紙面左上のマークで可視化されることで、 児童自身が学習の流れを見通す ことができるように工夫されている。	教科書全体を通して
		②導入『わくわく』ページは、『 単元扉 』と『 わくわくタイム 』の4ページで構成され、児童の思いや願いを高め、 学びの見通し をもつことができるよう工夫されている。	上 p.2-5,20-23,38-41,64-67,94-97 など 下 p.3-5,12-15,28-31,60-63,76-79 など
		③ 振り返り表現する場面 が適切に設定されており、自分の思いや気付きを表現していく中で、学んだことを認識して深めていけるように工夫されている。	上 p.12-13,32-33,60-61,90-91,104-105 など 下 p.8-9,24-25,38-39,86-87,94-97 など
15	気付きの質を高めることに十分目を向けられているか。	④『 できるかな できたかな? 』コーナーでは、学習過程や成果を振り返り、 自らの成長や学びの深まりを実感 できるように工夫されている。	■ できるかな できたかな? 上 p.13,33,61,77,91,105,117 下 p.9,25,39,55,71,87,97,109
		①『 めくり言葉 』には、「次はこうしたい」、「もっとこうしたい」という児童の“ 次の活動に向けての思いや願い ”が例示されており、 活動が単発的にならず、学びが連続的・発展的に深まる ように工夫されている。	教科書全体を通して
		②活動を通して 身近な人々、社会、自然と繰り返し関わる ことができる構成になっており、気付きの質が高まるように配慮されている。	教科書全体を通して
		③ 体験活動と表現活動 が活動のねらいに沿って繰り返されることで、児童の気付きの質が高まるように工夫されている。	教科書全体を通して

3 学習指導要領との関連 ～内容の選択・取り扱い～ の続き

No.	観点	啓林館の特色	具体例
16	見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を行えるように工夫されているか。	①見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの 気付いたことをもとに考えるための多様な学習活動の例 が豊富に示されており、児童が思考を働かせ、深い学びが実現できるようになっている。	(見付ける) 上 p.10-11 下 p.34-35 など (比べる) 上 p.74-75 下 p.66-67 など (たとえる) 上 p.27 下 p.19 など (試す) 上 p.74-75 下 p.66-67 など (見通す) 下 p.21 など (工夫する) 上 p.74-75 下 p.21 など
		②見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの視点に注目させたい場面には、『 学びのキーワード 』としてマークが付されており、 児童にとっては思考を深めるヒント として、 教師にとっては指導と評価のヒント として活用できるように工夫されている。	■ 学びのキーワード 上 p.74-75 下 p.21,66-67
17	個別最適な学びへの配慮がされているか。	▼上巻 p.74-75 	■ 学びのキーワード 上 p.74-75 下 p.21,66-67
		①『 びっくりずかん (ビジュアル図鑑) 』や『 がくしゅうずかん (巻末資料) 』、『 デジタルたんけんブック (QR コンテンツ) 』などの豊富な資料により、 児童自身が思いや願いを実現するために必要に応じて資料を参照したり、個々の状況に応じて教師が資料を提示したり できるように工夫されている。	■ びっくりずかん 上 p.18-19,34-35,50-51,78-83,106-107 下 p.10-11,58-59,74-75,98-99 ■ がくしゅうずかん 上 p.118-127 下 p.110-128 ■ デジタルたんけんブック https://k-qr.com/414a00001 
18	協働的な学びへの配慮がされているか。	② 上位学年の学習内容や学習指導要領に示されていない内容 が『 発展 』として取り上げられており、活動をより広げたり、深めたりできるようになっている。	■ 発展マーク 下 p.114-115
		③協働的な学習活動で、互いの思いや願いを尊重しながら活動の方向性を決めたり、活動を創り出していくようすが示されており、児童の 社会性や人間性を高められる ように配慮されている。	■ 学習環境の例示 上 p.12,46,72,90,104,112,114 など 下 p.4,6,20,32,38,53,54,64-65,68,80,86 など
19	評価に関して、教科書が適切に利用できるようになっているか。	④『 友だちと考えよう (下巻 p.120) 』には、グループでの話し合いの方法やクラスでの話し合いの方法、話し合いのヒントなどが示されており、 児童の協働的な学びが促されるようサポート されている。	上 p.9,32,72,90,112,116 下 p.6,16,24,32,48,53,80,90,92,105
		①『 できるかな できたかな? 』コーナーは、 資質・能力の3つの柱をもとに整理 されており、児童にとっては 自己評価の視点 になるとともに、教師にとってはその 単元で育てたい児童の姿がわかり、指導と評価の手がかり になるよう工夫されている。	■ できるかな できたかな? 上 p.13,33,61,77,91,105,117 下 p.9,25,39,55,71,87,97,109
20	ICT を効果的に活用できるように配慮されているか。	①生活科の活動をより深める・広げるための『ひとつの道具』として、ICT が有効な場面ではタブレット端末を利用した活動が、 低学年児童の発達段階や特性及び生活科の特質 に配慮しながら示されている。	■ ICT の活用場面 上 p.12,26,28,33,43,61,71,72,90,104,112 など 下 p.18,20,25,36,38,52,67,86,94-95,109 など
		②タブレット端末、電子黒板、デジタルカメラ、学習支援ソフトなど、多様な ICT の活用例が、 低学年児童の発達段階や特性及び生活科の特質 に配慮しながら示されている。	教科書全体を通して
21	情報モラル、ルールやマナーに十分目を向けられているか。	③これまでの教育現場の実践に ICT を効果的に組み合わせた ハイブリッドな授業モデルの一例 として、 具体的な活動とその活動に適した学習環境 がイラストや写真で示されている。	■ ハイブリッドな授業モデルの一例 上 p.12,72,90,104,112 など 下 p.20,38,86,94-95,103 など
		④児童が適切に ICT を活用できるよう『 タブレットをつかおう 』の資料が設けられている。	上 p.119 (タブレットをつかおう) 下 p.113 (タブレットをつかおう)
22	QR コードで示されている内容は適切か。	①紙面に『 QR コード 』が掲載されており、学習の助けになる教材 (動画・音声・図鑑・クイズなど) のコンテンツが利用できるようになっている。	■ 学びウェブ https://k-qr.com/411
		②紙面に『 QR コード 』が掲載されており、電子ブック形式の図鑑『 デジタルたんけんブック 』が利用できるようになっている。	■ デジタルたんけんブック https://k-qr.com/414a00001
23	感染症対策に配慮されているか。	③動画コンテンツでは、ナレーション音声による説明だけでなく、 字幕 による文字での説明も添えることで、 聴覚障害をもつ児童を含めた多様な児童へのアクセシビリティ が保障されている。	
		④動画コンテンツでは、ナレーション音声による説明だけでなく、 字幕 による文字での説明も添えることで、 聴覚障害をもつ児童を含めた多様な児童へのアクセシビリティ が保障されている。	
24	臨時休校などに配慮されているか。	①『 おうちでもっとせいかつか 』コーナーでは、 臨時休校などが生じた場合でも、家庭で生活科の学習活動に取り組める よう、学習活動の例やワークシートを QR コードからダウンロードできるようになっており、 学びを止めない工夫 がされている。	上 p.48,93
		②『 デジタルたんけんブック (QR コンテンツ) 』は、低学年の児童でも無理なく理解できる内容と情報量で制作されており、 臨時休校などが生じた場合に、家庭学習で活用 できるようになっている。	https://k-qr.com/414a00001

4 ICT の活用

No.	観点	啓林館の特色	具体例
20	ICT を効果的に活用できるように配慮されているか。	①生活科の活動をより深める・広げるための『ひとつの道具』として、ICT が有効な場面ではタブレット端末を利用した活動が、 低学年児童の発達段階や特性及び生活科の特質 に配慮しながら示されている。	■ ICT の活用場面 上 p.12,26,28,33,43,61,71,72,90,104,112 など 下 p.18,20,25,36,38,52,67,86,94-95,109 など
		②タブレット端末、電子黒板、デジタルカメラ、学習支援ソフトなど、多様な ICT の活用例が、 低学年児童の発達段階や特性及び生活科の特質 に配慮しながら示されている。	教科書全体を通して
21	情報モラル、ルールやマナーに十分目を向けられているか。	③これまでの教育現場の実践に ICT を効果的に組み合わせた ハイブリッドな授業モデルの一例 として、 具体的な活動とその活動に適した学習環境 がイラストや写真で示されている。	■ ハイブリッドな授業モデルの一例 上 p.12,72,90,104,112 など 下 p.20,38,86,94-95,103 など
		④児童が適切に ICT を活用できるよう『 タブレットをつかおう 』の資料が設けられている。	上 p.119 (タブレットをつかおう) 下 p.113 (タブレットをつかおう)
22	QR コードで示されている内容は適切か。	①紙面に『 QR コード 』が掲載されており、学習の助けになる教材 (動画・音声・図鑑・クイズなど) のコンテンツが利用できるようになっている。	■ 学びウェブ https://k-qr.com/411
		②紙面に『 QR コード 』が掲載されており、電子ブック形式の図鑑『 デジタルたんけんブック 』が利用できるようになっている。	■ デジタルたんけんブック https://k-qr.com/414a00001
23	感染症対策に配慮されているか。	③動画コンテンツでは、ナレーション音声による説明だけでなく、 字幕 による文字での説明も添えることで、 聴覚障害をもつ児童を含めた多様な児童へのアクセシビリティ が保障されている。	
		④動画コンテンツでは、ナレーション音声による説明だけでなく、 字幕 による文字での説明も添えることで、 聴覚障害をもつ児童を含めた多様な児童へのアクセシビリティ が保障されている。	
24	臨時休校などに配慮されているか。	①『 おうちでもっとせいかつか 』コーナーでは、 臨時休校などが生じた場合でも、家庭で生活科の学習活動に取り組める よう、学習活動の例やワークシートを QR コードからダウンロードできるようになっており、 学びを止めない工夫 がされている。	上 p.48,93
		②『 デジタルたんけんブック (QR コンテンツ) 』は、低学年の児童でも無理なく理解できる内容と情報量で制作されており、 臨時休校などが生じた場合に、家庭学習で活用 できるようになっている。	https://k-qr.com/414a00001

5 ウィズコロナ・アフターコロナ

No.	観点	啓林館の特色	具体例
23	感染症対策に配慮されているか。	①新型コロナウイルスをはじめとした 感染症への対策 として、手洗いや換気などの予防策が、イラストとともにわかりやすく示されている。また、手洗いの仕方については動画で丁寧に解説されている。	■ 教科書冒頭 上 p.③ 下 p.2 ■ 資料ページ 上 [小寸] p.14-15 下 p.111
		②外での活動の後に、手洗いやうがいを意識的に行えるように『 注意マーク(てをあらおう・うがいをしよう) 』が適所に付されている。	上 p.11,15,25,27,37,43,55,59,69,71 など 下 p.17,19,21,35,49,51,53,83,85 など
24	臨時休校などに配慮されているか。	③感染症で重症化リスクが高いとされる高齢者と関わる活動の場面には『 ご指導される先生方へのメッセージ 』が示されており、 感染症対策を促したり、オンラインを活用しての交流 を例示したりと十分な配慮がされている。	上 p.108
		④町探検など不特定多数の人々と関わる活動の場面では、キャラクターの吹き出しで、 状況に応じてマスクの着用が必要かどうか を考えられるよう示されている。	下 p.37
25	臨時休校などに配慮されているか。	⑤ひとつの道具を複数人で共有して使用する場面では、 アルコール消毒液を設置するなどの環境構成 のようすがイラストで示されている。	上 p.77 下 p.64
		①『 おうちでもっとせいかつか 』コーナーでは、 臨時休校などが生じた場合でも、家庭で生活科の学習活動に取り組める よう、学習活動の例やワークシートを QR コードからダウンロードできるようになっており、 学びを止めない工夫 がされている。	上 p.48,93
26	臨時休校などに配慮されているか。	②『 デジタルたんけんブック (QR コンテンツ) 』は、低学年の児童でも無理なく理解できる内容と情報量で制作されており、 臨時休校などが生じた場合に、家庭学習で活用 できるようになっている。	https://k-qr.com/414a00001

No.	観点	啓林館の特色	具体例
25	他教科等との 総合的・関連的な指導 に配慮されているか。	①他教科等と関連がある活動には、 総合的・関連的な学習活動を示すマーク が付けられており、カリキュラムを編成する際に参考にできるよう配慮されている。	■ 総合的・関連的な学習活動を示すマーク 上[小寸] p.10-11 / 上 p.31,46,60-61 下 p.69
		②国語科(話すこと、聞くこと、書くこと、読むこと)、算数科(数、時間)、音楽科(歌)、図画工作科(製作、造形)、体育科(ゲーム、ダンス)、道徳科(生命の尊さ、伝統文化)などの 他教科等との関連を図った学習活動 の例が豊富に掲載されている。	(国語科) 上 p.46,60 下 p.24-25,38,86 など (算数科) 上 p.29,31 下 p.18,69-71 など (音楽科) 上 p.74,76 など (図画工作科) 上 p.61,74-75 下 p.60-71 など (体育科) 上 p.26,60 など (道徳科) 上 p.7,9,62-63 下 p.26-27,33,41,81
26	道徳教育の充実に配慮されているか。	① 道徳科と生活科の学習効果が相互に高められる よう、道徳科の学習に関連する紙面が充実している。	上 p.62-63 (大せつないのち) 下 p.26-27 (わたしの野さい)
		②あいさつやマナーなど、 生活科の学習の過程で道徳教育が適切に取り扱える よう、『 こんなときどうしよう 』コーナーや『 がくしゅうずかん(巻末資料) 』に資料が設けられている。	■ こんなときどうしよう 上 p.7 下 p.33,41,81,127 ■ がくしゅうずかん 上 p.118-127 下 p.110-128
		③動植物に関わる単元では、 生命の大切さや生物を慈しむ心 を育てるとともに、 生命の連続性 に気付くことができるように配慮されている。	上 p.20-35,52-63 下 p.12-27,44-57
27	STEAM教育に配慮されているか。	①友だちと関わり合いながら、言語能力や創造性、協調性、豊かな感性などを発揮し、各教科等で身に付けたことを生かして個々の思いや願いの実現に向けて表現する児童の姿や具体的な活動場面が示されている。	教科書全体を通して
		②幼児期からのものづくり体験を生かし、おもちゃ作り等の創作活動では、児童一人ひとりの知的好奇心や探究心が引き出せるように素材遊びや見通し・振り返りの時間の確保をするなど学習過程が工夫されている。	下 p.60-73 (せかいでひとつわたしのおもちゃ)

No.	観点	啓林館の特色	具体例
28	スタートカリキュラムの編成に配慮されているか。	①上巻巻頭には、スタートカリキュラムに関する『 すたあとぶっく〜がっこうだいすき いちねんせい〜 』単元が設定されており、幼児期の学びや育ちを小学校に丁寧につなぎ、児童が主体的に自己を発揮しながら、 安心して学校生活を始められる ように配慮されている。	上[小寸] p.1-16
		②入学当初の緊張感のある児童が 幼児期に親しんだ遊び を取り入れた活動で 心と体をほぐす ようすが例示されており、児童の人間関係が豊かに広がるように配慮されている。	上[小寸] p.8-9
		③幼児期における遊びを通した総合的な学びから、各教科等における学習に円滑に移行できるよう、生活科を中心とした 総合的・関連的な学習活動の例 が豊富に掲載されている。	上[小寸] p.10-11
29	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)との関連が考慮されているか。	①『 すたあとぶっく〜がっこうだいすき いちねんせい〜 』単元の冒頭には「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」を踏まえた 幼児期の写真 が掲載され、児童が 自信や意欲・安心感を高めて小学校生活をスタート できるように配慮されている。	上[小寸] p.1-16
		②『 すたあとぶっく〜がっこうだいすき いちねんせい〜 』単元のQRコンテンツには、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」をわかりやすく説明した 保護者向けの解説 が設けられており、 架け橋期 (5歳児〜小学校1年生)の子どもの学びや育ちが丁寧に扱われている。	上[小寸] p.3
30	架け橋プログラムに配慮されているか。	①スタートカリキュラムに関する『 すたあとぶっく〜がっこうだいすき いちねんせい〜 』単元は、 幼児教育施設の職員と小学校教員が共同して制作 しており、 双方の視点から子どもの学びや育ちを丁寧に つなぐ単元になっている。	上[小寸] p.1-16
31	幼保小連携に配慮されているか。	①入学当初(スタートカリキュラム実施時期)だけでなく、その後の単元においても、幼児期の既習経験を想起する場面が設定されており、教科書を通して幼児教育の成果を生かす工夫がされている。	上 p.27,38,55 下 p.14
		②幼保小の交流活動は、幼児にとっては小学校への期待を高め、児童にとっては自己肯定感を高められるように活動内容が設定され、 互恵的な学びの場 となるように配慮されている。	上 p.76-77,114-115



No.	観点	啓林館の特色	具体例
32	中学年以降へのつながりに配慮されているか。	①生活科の学習活動から中学年以降の学習へと無理なく移行することができるように、上位学年の学習内容との関連を配慮しながら本編の学習内容が設定されている。	教科書全体を通して
		②下巻の巻末『 ステップブック〜みらいにむかって〜 』では、2年間の生活科を振り返る活動を通して、満足感や達成感を感じ、 自信と意欲をもって3年生に進級できるように 配慮されている。	■ ステップブック 下[小寸] p.1-7
33	理科へのつながりに配慮されているか。	①栽培活動は、上巻では花を、下巻では野菜を扱い、 植物の一生や生命の連続性への気付き につながるよう工夫されている。	上 p.20-33 (わたしのはなをそだてよう) 下 p.12-27 (大きく育てわたしの野さい)
		②飼育活動は、上巻では身近な生き物と関わりをもつこと、下巻では身近な生き物の継続的な飼育活動が設定されており、 生命の誕生や生命の連続性 への気付きにつながるよう工夫されている。	上 p.52-63 (生きもの大すき) 下 p.44-57 (生きもの大すき大はっ見)
34	社会科へのつながりに配慮されているか。	③おもちゃ作りでは、身近な素材を使って、繰り返し試行錯誤する活動が設定されており、遊びながら 物の性質や働き に気付くよう工夫されている。	上 p.74-75 下 p.60-73 (せかいでひとつわたしのおもちゃ)
		④生き物の実物大写真が多数掲載されており、児童の興味関心を高めるとともに、 自然の美しさやすばらしさ を感じられるように工夫されている。	上 p.66-67,80-81
		⑤校庭や公園のイラストは、同じ場所で同じ角度から描かれた 定点観測のイラスト になっており、 季節の変化や自然のすばらしさ を感じられるようになっている。	■ 校庭の定点観測 上 p.10,42,68,98 ■ 公園の定点観測 上 p.16-17,70-71
35	総合的な学習の時間へのつながりに配慮されているか。	⑥一人ひとりの児童が思いや願いの実現に向けて試行錯誤するようすが示され、 問題解決の基礎 が養われるようになっている。	教科書全体を通して
		①町探検では、町のような絵地図に整理する学習活動が設けられており、 位置関係や空間的な広がり への気付きにつながるよう配慮されている。	下 p.39,80,87 など
36	総合的な学習の時間へのつながりに配慮されているか。	②『 もっと知りたいたんけんたい 』単元は、人に注目した単元の構成になっており、 町に暮らす人や町で働く人と関わり がもてるように工夫されている。	下 p.76-87 (もっと知りたいたんけんたい)
		③下巻の『 がくしゅうずかん(巻末資料) 』には、SDGsに関する資料が掲載されており、その中に、 4年生社会科につながるリサイクルの内容 が発展的な学習として例示されている。	下 p.114-115 (地きゅうのみらいを考える)
37	総合的な学習の時間へのつながりに配慮されているか。	④下巻の『 びっくりずかん(ビジュアル図鑑) 』には、 季節ごとの年中行事 が例示されており、伝統や文化への気付きや、時期や時間の経過への気付きにつながるようになっている。	下 p.10-11,58-59,74-75,98-99
		① 探究的な見方・考え方 につながるよう、気付いたことをもとに考えたり、友達と協働して思いや願いを実現しようとしたりする姿が具体的に示されている。	上 p.9,32,72,90,112,116 下 p.6,16,24,32,48,53,80,90,92,105
38	総合的な学習の時間へのつながりに配慮されているか。	②単元は、導入『 わくわく 』、主たる活動『 いきいき 』、振り返り『 ぐんぐん 』の3段階で構成され、それらの学びが連続的・発展的に繰り返されることで、自ら問いを見いだし解決していく 探究活動の基礎 を養えるように構成されている。	教科書全体を通して



▼下巻[小寸] p.4-7

ごみの分べつや リサイクル



町のルールを まもって 分べつしよう。



No.	観点	啓林館の特色	具体例
36	防災教育・安全教育に配慮されているか。	① 自然災害、交通災害、人的災害 の3つの視点から、さまざまな場面での適切な行動や基本的な知識が身に付くように、防災教育・安全教育に関する資料が豊富に掲載されている。 ▼上巻 [小寸] p.16 	上 [小寸] p.16 / 上 p.1,14-15,37,49,99,127 下 p.33,49,112,125 ▼上巻 p.127 
		② 登下校などの交通安全 に関する資料は、1年生の4月の段階で学習できるように上巻の巻頭に掲載されている。また、『 保護者の方へのメッセージ 』を掲載し、 家庭と学校が連携して児童の安全を考えられるよう に工夫されている。	上 [小寸] p.16 / 上 p.1 (あんぜんにすごそう)
		③ 地震、火事、津波などの自然災害 に関する資料は、『 がくしゅうずかん (巻末資料) 』にまとめて掲載されており、いつでも繰り返し確認できるよう工夫されている。	上 p.127 (ひなののやくそく) 下 p.112 (あんぜんにすごそう)
		④ 危険な生物や危険な植物 (スズメバチ、チャドクガの幼虫、ぎんなんなど) については、『 きをつけよう 』コーナーで注意が促されている。	上 p.55,71 下 p.49
		⑤ はさみやカッターナイフなどの道具を使う場面 には『 注意マーク (どうぐをあんぜんにつかおう) 』が付されている。また、『 がくしゅうずかん (巻末資料) 』には道具の使い方についての資料が設けられている。	上 p.75 下 p.65,73 
37	熱中症対策に配慮されているか。	① 気温が高い時期における屋外活動の場面 では、『 注意マーク (ねっちゅうしょうにちゅういしよう) 』が付されていたり、コーナーで 帽子の着用 や 水分補給 が促されていたりして、熱中症を意識できるように工夫されている。	上 p.17,27,29,31,37,45 下 p.19,21,23,49 
		②『 なつとなかよし 』単元の単元扉には、『 ご指導される先生方へのメッセージ 』が設定されており、学習を始める前に、 教師が熱中症の危険性をあらためて認識し、適切な対応 ができるように配慮されている。	上 p.39
38	衛生面に配慮されているか。	①飼育活動においては、活動の前後に手洗いをするなどの衛生面への注意が促されている。 ②ザリガニカビ病など、衛生面で不安のある アメリカザリガニ を飼育対象として掲載しておらず、衛生面に配慮されている。	上 p.55  教科書全体を通して
39	健康教育、生活習慣に配慮されているか。	①手洗い、うがいなど 健康に関する資料 が豊富に掲載されており、 基本的な習慣が身に付く ように工夫されている。	上 [小寸] p.14-15 下 p.111
		②上巻では、長期休暇 (夏休み・冬休み) の前に資料ページが設定され、児童が 規則正しく健康に気を付けて生活することへの意識付け ができるようになっている。 ③『 じぶんでチャレンジ大きくせん 』単元では、自分の1日の生活を見直し、 規則正しく健康に気を付けて生活しようとする意識 を育てることができるように配慮されている。	■ 夏休み・冬休み前の指導 上 p.48-49,93 上 p.84-91 (じぶんでチャレンジ大きくせん)
40	アレルギーなどに配慮されているか。	①飼育単元の単元扉には、『 ご指導される先生方へのメッセージ 』が設定されており、学習を始める前に、 動物や昆虫などのアレルギーについて確認 できるように配慮されている。	上 p.52 下 p.44
		②食品アレルギーに関係する素材 (マヨネーズ容器など) を授業で使用する可能性が考えられる場面には、『 ご指導される先生方へのメッセージ 』が設定されており、 食品アレルギーに対する注意 が促されている。	上 p.44

No.	観点	啓林館の特色	具体例
41	食に関する教育に配慮されているか。	①野菜を栽培したり、町探検で和菓子の店や農家の方と関わったりするなど、 食に関わる学習活動 が例示されている。 ②下巻の『 びっくりずかん (ビジュアル図鑑) 』には、 季節ごとの旬の食材 が示されており、身近な食材によって季節を感じられるように工夫されている。	■ 食に関わる学習活動 下 p.12-27,36,82,84 ■ 季節ごとの旬の食材 下 p.11,59,75,99
		①上巻には、伝統的な遊び (けん玉、こま、あやとりなど) を楽しむ活動が掲載されており、日本の伝統文化への愛着がもてるように配慮されている。 ②下巻には、 季節の行事 や 各地の伝統行事 が例示されており、日本の文化や季節の変化のすばらしさを感じられるように配慮されている。	上 p.108 下 p.10-11,58-59,74-75,98-99
43	国際理解へとつながる配慮がされているか。	①上巻・下巻ともに、写真やイラストに外国にルーツをもつ児童が設定され、ともにいきいきと活動する姿が示されている。 ②外国の文化に関連する祭りや多様な言語で表記された標識が掲載されている。	教科書全体を通して 上 p.1,14 下 p.35,42,99
		①環境問題や食糧問題など、地球の問題を 自分事として捉える きっかけとして、自分自身の生活の工夫、自分と自然との関わり方、身近な社会の工夫について考えることができる SDGs に関する資料 が掲載されている。また、さらに詳しく学べるように特設サイト『 わくわく SDGs 』が QR コンテンツとして用意されている。 下巻 p.114-115 ▼ 	下 p.114-115 (地きゅうの未来を考える)  
44	持続可能な開発目標 (SDGs)、環境教育への配慮はされているか。	②飼育単元では、 乱獲防止 を促すキャラクターの吹き出しを掲載し、 生態系を大切に する心が育つように配慮されている。 ③ 生態系に大きな影響を及ぼすアメリカザリガニ を飼育対象として掲載しておらず、環境への配慮が十分に検討されている。また、『 外国から来た生きもの 』のコーナーには、外来生物の自然環境への影響が示されており、 外来生物との関わり方 や 環境問題 などに目を向けることができるようになっている。	下 p.48 下 p.57 (外国から来た生きもの)
45	言語能力を育成できるように配慮されているか。	① 言葉、絵、動作、劇化、ICT の活用 など 多様な表現活動 が発達の段階や合科的・関連的な指導、3年生への接続などに配慮しながら、 段階的に設定 されており、思考を深め、豊かな表現力が身に付くように配慮されている。 ②国語科や書写で学習したことを生かした、 作文・新聞・招待状・説明文・パンフレット・ポスター・手紙 などの多様な表現方法が例示されており、思考を整理し、表現する中で言語能力が育まれるように配慮されている。 ③伝える内容や伝える相手に合わせて 表現方法を自己決定 できるように、まとめ方や伝え方の例を示した『 まとめよう つたえよう 』が掲載されている。	上 p.12-13,32-33,46,60-61,76-77 など 下 p.24-25,38-39,54-55,70-71 など 上 p.60,下 p.97 (作文) / 下 p.55,93,122 (新聞) / 上 p.114,下 p.69,95,109 (招待状) / 下 p.69 (説明文) / 下 p.123 (パンフレット) / 上 p.93 (年賀状) / 下 p.93,96 (ポスター) / 上 p.91,下 p.25,96,109 (手紙) / 下 p.9,123 (俳句)
46	情報活用能力を育成できるように配慮されているか。	① 情報の発信者、受信者、利用者としての視点 で、低学年でも可能なさまざまな情報の取り扱いの例が示されている。 ② ICT を活用する際に必要となる 情報モラル について学ぶことができるコーナーや資料が設けられている。	教科書全体を通して 上 p.8,89,119 下 p.36,83,113
47	問題発見・解決能力を育成できるように配慮されているか。	①単元は、導入『 わくわく 』、主たる活動『 いきいき 』、振り返り『 ぐんぐん 』の3段階で構成され、思いや願いの実現に向けて 学びが連続的・発展的に繰り返される ことで、問題発見・解決能力が育成できるように工夫されている。	教科書全体を通して
		①幼児や高齢者、外国の人、障がいのある方など多様な人々と分け隔てなく関わるようすが写真やイラストで示されている。	教科書全体を通して
48	多様な他者と協働することの重要性を実感できるようにしているか。	①幼児や高齢者、外国の人、障がいのある方など多様な人々と分け隔てなく関わるようすが写真やイラストで示されている。	教科書全体を通して

9 今日的な教育課題 の続き

No.	観点	啓林館の特色	具体例
49	キャリア教育に十分目を向けられているか。	①地域の店や公園などを訪問したり、利用したり、そこで働く人や利用する人とふれ合ったりする中で、出会った人々への 憧れや感謝の気持ち をもつとともに、 自分の夢や未来 について考えることができるよう工夫されている。	下 p.28-43 (とび出せ!町のたんけんたい) 下 p.76-87 (もっと知りたいたんけんたい)
		②下巻巻末の『 ステップブック～みらいにむかって～ 』には、将来の夢に関するイラストが掲載されており、児童が自分自身の未来に 期待や希望 をもてるように工夫されている。	■ ステップブック 下[小寸] p.1-7
50	社会に開かれた教育課程、家庭や地域社会との連携に配慮されているか。	①保護者の方に生活科の学習への理解と協力を促すため、教科書の巻末に『 保護者の方へのメッセージ 』が設けられており、 生活科の意義が伝わる ように工夫されている。	上 p.128 下[小寸] p.8
		②家庭との連携が重要な内容に、『 保護者の方へのメッセージ 』が設けられており、 家庭との連携が深まる ように配慮されている。	上[小寸] p.1,3,15 / 上 p.1,48,93,128 下 p.57 / 下[小寸] p.8
		③生活科の活動のできごとを 家庭で伝えるようす や 地域の活動に積極的に取り組むようす が写真やイラストで示されている。	上 p.13,33,61,77,91,105,117 下 p.9,25,39,55,71,87,97,109
		④公園探検や町探検などの野外活動では、 地域の方や保護者の方、PTA などの協力 を得ながら、安全に活動しているようすがイラストで示されている。	上 p.16-17,70-71 下 p.82
		⑤ 外部人材との連携 (地域の人的・物的資源の活用)の例として、地域のお年寄り、農家の人、町で暮らす人や働く人、見守り隊の人など、児童の生活を支える人々との交流が示されている。	上 p.14-15,108 下 p.16,21,34-37,40-43,78-85
51	長期休暇や休日に対して柔軟な配慮がされているか。	①上巻では、長期休暇(夏休み・冬休み)の前に資料ページが設定され、児童が 規則正しく健康に気を付けて生活することへの意識付け ができるようになっている。	■ 夏休み・冬休み前の指導 上 p.48-49,93
		②上巻の長期休暇前の資料ページにある QR コード『 おうちでもっとせいかつか 』では、児童が長期休暇にも 家庭で生活科の学習に取り組める よう、ワークシートがダウンロードできるようになっている。	上 p.48,93
		③『 びっくりずかん(ビジュアル図鑑) 』や『 デジタルたんけんブック(QR コンテンツ) 』などの豊富な資料で、児童が 長期休暇や休日にも主体的に学ぶことができる ように工夫されている。	■ びっくりずかん 上 p.18-19,34-35,50-51,78-83,106-107 下 p.10-11,58-59,74-75,98-99 ■ デジタルたんけんブック https://k-qr.com/4l4a00001
		④下巻では、 公共施設(図書館・博物館・駅など)の利用 に関するページが設定されており、児童が長期休暇や休日にもルールやマナーを守りながら適切に施設を利用できるように配慮されている。	下 p.40-43 (みんなであつかう町のしせつに行こう)
52	働き方改革や指導経験が浅い教師に配慮されているか。	① 協働的な学びを促す学習環境の例(ICT 機器の活用、板書の活用、机のレイアウトを含む場の設定など) がイラストで示されており、 授業計画や授業改善 の手がかりになるよう工夫されている。	上 p.12,46,72,90,104,112,114 など 下 p.4,6,20,32,38,53,54,64-65,68,80,86 など
		②児童の思考を促したり、学習を方向付けたり、気付きの質を高めたりする 教師の言葉かけの例 が具体的に示されており、 指導や見取りのヒント として活用できるようになっている。	上 p.7,25,31,32,38,40,88,90,101,113 など 下 p.17,24,32,49,50,53,68,80,97,105,106 など
		③『 できるかな できたかな? 』コーナーは、資質・能力の3つの柱をもとに整理されており、児童にとっては自己評価の視点になるとともに、 教師にとってはその単元で育てたい児童の姿がわかり、指導と評価の手がかり になるよう工夫されている。	■ できるかな できたかな? 上 p.13,33,61,77,91,105,117 下 p.9,25,39,55,71,87,97,109
		④『 びっくりずかん(ビジュアル図鑑) 』や『 がくしゅうずかん(巻末資料) 』、『 デジタルたんけんブック(QR コンテンツ) 』などの豊富な資料により、必要に応じて 個に応じた指導や理解度に合わせた指導 が行いやすいようになっている。	■ びっくりずかん 上 p.18-19,34-35,50-51,78-83,106-107 下 p.10-11,58-59,74-75,98-99 ■ がくしゅうずかん 上 p.118-127 下 p.110-128 ■ デジタルたんけんブック https://k-qr.com/4l4a00001
		⑤紙面の適所に『 ご指導される先生方へ 』が設定されており、 生活科の指導経験が浅い教師でも、適切な指導を行うことができる ように配慮されている。	上 p.③,39,44,52,55,128 下 p.2,57 / 下[小寸] p.8
		⑥ 指導書 では、活動の流れや教師の支援のポイントが丁寧に示されており、 生活科の指導経験が浅い教師でも安心して授業ができる ように工夫されている。	
		⑦ 啓林館ポータル では、ワークシートや保護者の方への手紙がダウンロードできるようになっており、 教師の負担を軽減 できるように工夫されている。	

10 すべての児童の学びやすさ、インクルーシブ教育

No.	観点	啓林館の特色	具体例
53	ユニバーサルデザインに配慮されているか。	①色覚の個人差を問わず、 紙面の内容が判別しやすい配色・デザイン が用いられており、メディア・ユニバーサル・デザイン協会(MUD)による認証を申請している。	
		②本文などの基本的な文字のフォントには、 UDフォント が採用されており、視認性と可読性が高められている。	
54	特別支援教育に配慮されているか。	① 特別支援教育の専門家による監修 のもと、すべての児童が支障なく、落ち着いた学習に取り組めるように、文字の大きさや量・配色・デザイン・レイアウト等が工夫されている。	教科書全体を通して
		②小単元名、本文、コーナー、マークなどの位置は、 定位置に固定 されており、すべての児童にわかりやすい紙面になっている。また、学習活動の中で読む必要のある記録カードは傾けて配置することを避け、読みやすい紙面になっている。	教科書全体を通して
		③自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを考えたりするための ソーシャルスキル・トレーニング に関連する資料として『 気持ちを伝えよう 』が掲載されている。	上 p.126 (気持ちを伝えよう)
55	人権や福祉、ジェンダーに配慮されているか。	①幼児や高齢者、外国の人、障がいのある方など 多様な人々と分け隔てなく関わる ようすが写真やイラストで示されており、誰もが住みやすい社会を目指すとする意識が自然に芽生えるように工夫されている。	教科書全体を通して
		②写真やイラストは、男女比がほぼ同比率になっており、さらに 性別によって服装の色や種類が固定的にならない ように配慮されている。また、家庭での役割や社会進出の面で、性別で差が生じないように配慮されている。	教科書全体を通して
56	多様な家庭環境を考慮した活動内容となっているか。	①写真やイラストは、児童の多様な家庭環境に配慮されている。 (児童の心情に十分配慮し、固定化された家族像に偏ることがないよう、多様な家庭環境を想定した写真やイラストの選定がされている。)	■ (2) 家庭と生活 上 p.84-91 (じぶんでチャレンジ大きくせん) ■ (9) 自分の成長 下 p.100-109 (これまでのわたしこれからのわたし)
		②児童の過去の出来事に関連する学習では、多様な家庭環境に十分に配慮しながら、活動内容が設定されている。 (幼い頃の写真や実物を一律に使用する学習活動を避けるなど、家庭の事情でそれらを用意できない児童が悲しい思いをしないように配慮されている。)	■ (9) 自分の成長 下 p.100-109 (これまでのわたしこれからのわたし)

11 構成・配列

No.	観点	啓林館の特色	具体例
57	教科書の構成・単元の配列は適切か。	①上下巻ともに、季節に沿って単元が構成され、単元が進むにつれて活動が広がり、深まっていくように配列されている。	教科書全体を通して
58	単元の内容・分量は適切か。	①低学年児童が親しみやすい学習活動や学習対象、学習材が取り上げられており、児童の興味・関心を生かして授業が展開できるようになっている。	教科書全体を通して
		②上下巻ともに、1年間で学習する適切な単元の内容・分量になっており、学びを広げたり深めたりするための資料ページも充実している。	教科書全体を通して
59	学校や地域の独自性を生かした活動が選択できるようになっているか。	①冬の単元では、雪が降る地域でも、雪が降らない地域でも活動が展開できるように、雪を利用した遊びと風を利用した遊びの両方が扱われている。	上 p.100-101 (風を利用した遊び) 上 p.102-103 (雪を利用した遊び)
		②『 びっくりずかん(ビジュアル図鑑) 』や『 がくしゅうずかん(巻末資料) 』、『 デジタルたんけんブック(QR コンテンツ) 』を活用し、より重点的・弾力的な活動ができるようになっている。	■ びっくりずかん 上 p.18-19,34-35,50-51,78-83,106-107 下 p.10-11,58-59,74-75,98-99 ■ がくしゅうずかん 上 p.118-127 下 p.110-128 ■ デジタルたんけんブック https://k-qr.com/4l4a00001
		③活動や学習対象、学習材、学習方法が複数提示されているため、その中から、学校や児童の実態に合わせて自由に選択できるように工夫されている。	教科書全体を通して
60	2学期制に対応しているか。	①9月末～10月初旬に単元の区切りがあり、2学期制にも対応できるよう配慮されている。	■ 9 月末～ 10 月初旬からはじまる単元 上 p.52-63 (生きもの大すき) 下 p.76-87 (もっと知りたいたんけんたい)

11 構成・配列 の続き

No.	観点	啓林館の特色	具体例
61	複式学級に対応しているか。	①上下巻ともに、1・2年生までに学習する漢字すべてにルビが付けられており、1年生の児童でも下巻の教科書を使用することができるように配慮されている。	教科書全体を通して
		②活動や学習対象、学習材、学習方法が複数提示されているため、その中から、学校や児童の実態に合わせて自由に選択できるように工夫されている。	教科書全体を通して

12 表記・表現

No.	観点	啓林館の特色	具体例
62	表記・表現は親しみやすく、児童の意識に沿っているか。	①本文などの基本的な文字のフォントは、 国語科の指導に即した点画の正しい字形 を保ちながらも、視認性と可読性が高い教科書・教材用の UD フォント が採用されている。	
		②文章は、文節で 分かち書き されており、低学年児童も読みやすいように工夫されている。	
		③低学年児童の教科書にふさわしい文字情報量で構成され、無理なく安心して学習に取り組めるよう配慮されている。	
63	漢字・カタカナの使い方は適切か。	①国語科の指導に配慮し、上巻の前半はひらがなのみ、上巻の後半（夏休み以降の単元から）は、カタカナと第1学年配当漢字（ふりがな付き）が使用されている。下巻は、ひらがな・カタカナ・第1学年配当漢字（ふりがな付き）に加え、第2学年までの配当漢字（ふりがな付き）が使用されている。	教科書全体を通して
64	写真・イラストは適切か。	①写真やイラストは、児童の想像力を刺激したり、共感を呼んだりして、実際に活動する際の資料として十分活用できるようになっている。	教科書全体を通して
		②興味・関心を喚起するダイナミックな写真と緻密な資料としての写真が、メリハリをつけて適切に配置されている。	教科書全体を通して
65	デザインやレイアウトは多様な児童にとってわかりやすく見やすい、 ユニバーサルデザイン の視점에配慮されているか。	①色覚の個人差を問わず、 紙面の内容が判別しやすい配色・デザイン が用いられており、メディア・ユニバーサル・デザイン協会（MUD）による認証を申請している。	
		② 特別支援教育の専門家による監修 のもと、すべての児童が支障なく、落ち着いて学習に取り組めるように、配色・デザイン・レイアウトが工夫されている。	
		③小単元名、本文、コーナー、マークなどの位置は、 定位置に固定 されており、すべての児童にわかりやすい紙面になっている。また、学習活動の中で読む必要のある記録カードは傾けて配置することを避け、読みやすい紙面になっている。	

13 用紙・印刷・製本

No.	観点	啓林館の特色	具体例
66	鮮明な印刷 になっているか	①白色度の高い用紙に、鮮明で美しく印刷されている。	
		②発色性に優れ、裏写りの少ない用紙を使用し、目にやさしく、読みやすい紙面になるように工夫されている。	
67	用紙 や 印刷 は、環境に配慮されているか。	①用紙は、軽くて印刷が鮮明な再生紙が採用されている。	
		②印刷には植物油インキが使用され、環境やアレルギーに配慮されている。	
68	判型 は、適したものになっているか。	①低学年児童にとって取り扱いやすい大きさで、人の目からの情報受容にも適した形状の、 AB 版（ワイド版） の判型が採用されている。	

No.	観点	啓林館の特色	具体例
69	製本や加工は、低学年児童の使用を考慮しているか。	①製本は、 開きやすいことや紙面が広く見える ことに配慮して あじろ無線綴じ 製本が採用されており、強力な接着止めで堅牢なつくりになっている。	
		②表紙には、厚い用紙が使用され、 汚れや濡れに強い加工 が施されている。	
		③裏表紙の氏名記入欄は、 文字が記入しやすい ように、コート加工が部分的に外されている。	
		④上巻巻頭の『 すたあとぶっく 』は、本編よりも 厚くて光沢のある用紙 が使用され、小寸サイズの紙面の 角が丸く加工 されることにより、親しみやすい印象になるように工夫されている。	■ すたあとぶっく 上 [小寸] p.1-16
		⑤下巻巻末の『 ステップブック～みらいにむかって～ 』は、本編よりも 厚くて光沢のある用紙 が使用され、観音開きの仕様を採用することで、児童の学びや成長の連続性が見てわかるように工夫されている。	■ ステップブック 下 [小寸] p.1-7

14 個人情報の取り扱い

No.	観点	啓林館の特色	具体例
70	個人情報の取り扱いについて配慮されているか。	当社は、当社が取り扱うすべての個人情報（デジタル教科書等で取り扱う個人情報）について、社会的使命を十分に認識し、本人の権利の保護、個人情報に関する法規制等を遵守します。	

学習指導要領の内容一覧

図書の構成・内容		学習指導要領の内容		該当箇所	配当時数
		主たる内容	関連する内容		
上巻	すたあとぶっく ～がっこう だいすき いちねんせい～	(1)	—	(小寸)p.1-13	6
	いくぞ!がっこう たんけんたい	(1)	(4)	p.2-19	13
	わたしの はなを そだてよう	(7)	(5) (8)	p.20-33	11
	なつと なかよし	(5) (6)	(8)	p.38-51	7
	生きもの 大すき	(7)	(8)	p.52-63	7
	あきと なかよし	(5) (6)	(4) (8)	p.64-83	16
	じぶんで チャレンジ 大さくせん	(2)	(8)	p.84-93	11
	ふゆと なかよし	(5) (6)	(8)	p.94-107	10
	もう すぐ 2年生	(9)	(8)	p.109-117	13
標準時数 102					計 94(予備 8)

図書の構成・内容		学習指導要領の内容		該当箇所	配当時数
		主たる内容	関連する内容		
下巻	わくわく どきどき 2年生	(9)	(1) (5)	p.3-9	4
	大きく そだて わたしの 野さい	(7)	(8)	p.12-27	13
	とび出せ!町の たんけんたい	(3) (4)	(8)	p.28-43	10
	生きもの 大すき 大はっ見	(7)	(3) (8)	p.44-57	10
	せかいで ひとつ わたしの おもちゃ	(6)	(8)	p.60-73	13
	もっと 知りたい たんけんたい	(3) (4)	(5) (8)	p.76-87	14
	町の すてき つたえたい	(8)	(3)	p.88-97	12
	これまでの わたし これからの わたし	(9)	(8)	p.100-109	21
	ステップブック ～みらいに むかって～	(9)	(1) ～ (8)	(小寸)p.1-7	—
標準時数 105					計 97(予備 8)

※学校や地域及び児童の実態に応じた弾力的な学習計画が立てられるように、標準時数よりも余裕をもたせて時間を配当しています。
※下巻「ステップブック～みらいに むかって～」は、資料単元として掲載しているため、配当時間は設けていません。

2024(令和6)年度用 年間活動計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12		1	2	3			
わくわく せいかつ 上	なにかあるかな？だれがいるかな？ いくぞー！がっこうたんけんたい(13時間) あそびがまなびにつながるひろがる あたらしいともだち あたらしいせいかつ がっこうだいすきいちねんせい(6時間)＋他教科時数	わたしのはなをそだてよう(1学期)(6時間) がっこうをたんけんしよう はるのこうていをたんけんしよう がっこうのひとはなしてみよう たねをまこう どんなはなをそだてたいかな？ わたしのはなをそだてよう(1学期)(6時間)	なつにどんなあそびができるかな？ なつとなかよし(7時間) こうえんであそぼう がっこうのまわりをあるいてみよう がっこうのひみつをしようかいしよう せわをしよう	これまでをふりかえろう おきにいりのなつをつたえよう なつのあそびをたのしもう わたしのはながさいたよ なつのこうていでてみよう	ゆとり(1時間)	夏休み	ゆとり(3時間)	わたしのはなをそだてよう(2学期)(5時間) みつけたことをつたえよう たねをとろう	あきとなかよし(16時間) なかよくなれたことをしようかいしよう 生きものとなかよくなろう 見たことがある生きものはいるかな？ 生きもの大すき(7時間) みつけたことをつたえよう たねをとろう	あきとなかよし(16時間) あきの校ていに出てみよう あきはどんなきせつかない？ あきとなかよし(16時間) なかよくなれたことをしようかいしよう 生きものとなかよくなろう 見たことがある生きものはいるかな？ 生きもの大すき(7時間) みつけたことをつたえよう たねをとろう	じぶんてチャレンジ大きくせん(11時間) あきのおもちゃをたのしもう あきのおもちゃをつくってあそぼう 見つけたあきをつたえよう こうえんであきをさがそう あきの校ていに出てみよう あきはどんなきせつかない？ あきとなかよし(16時間)	(むかしからのあそびをたのしもう) これまでをふりかえろう ちょうせんしたことをはなよう できることにちょうせんしよう 1日の生かつをふりかえろう あきとなかよし(10時間)	ゆとり(2時間) 冬休み	ふゆの校ていに出てみよう ふゆにやってみたいことをはなそう ふゆとなかよし(10時間)	もうすぐ2年生(13時間) ふゆのあそびをしようかいしよう かぜであそぼう ふゆの校ていに出てみよう ふゆにやってみたいことをはなそう ふゆとなかよし(10時間)	ゆとり(2時間) 春休み
飼育活動	<div>●●●</div>															

その他の資料

指導書のご紹介

啓林館の指導書は、
先生方の負担を軽減します！

第1部 - 総説 -	● 総説
第2部 - 詳説 -	● 要点編 ● 研究編 (付録：DVD-ROM) ● 資料編 ● スタートカリキュラム編 ● 指導者用デジタル教科書 ● 拡大ポスター (掲示用) ● KEIRINKAN Portal



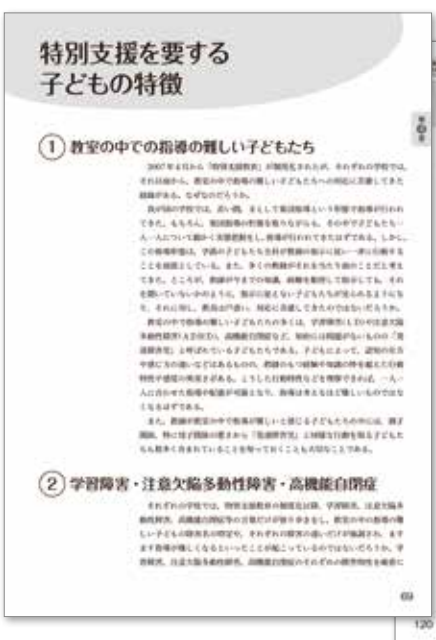
第1部 総説

総説

生活科の基本から最新のトピックスまで

生活科教育のガイダンスとして、学年をこえた内容、幼保小連携、合科的・関連的な指導、特別支援教育、防災教育などを掲載しています。

- 主な内容
- 生活科の基礎・基本
 - 気付きの質を高めること
 - 幼保小連携の考え方
 - 合科的・関連的な指導
 - 生活科におけるこれからの評価
 - 新任の先生のための資料 など



ここがオススメ！
生活科を初めて指導する先生にも親かな構成です。

第2部 詳説

要点編

日々の授業のために

教室に持ち込んで授業ができる実践型の指導書です。教科書と同じ紙面を掲載し、活動の流れや指導のポイントなどを簡潔に記しています。

- 主な内容
- 毎時間の活動展開例
 - 評価規準の例
 - 準備物の例
 - ICT活用のポイント
 - 深い学びのヒント
 - 板書例
 - 特別支援の留意点
 - 家庭環境への配慮 など



いきいき 生きものとなかよくなろう

配当時間 3時間 研究編 p.100

小単元目標
生き物を探したり、触れ合ったりする活動を通して、生き物の特性や生態について学び、生き物と共生する態度を育てる。

活動の流れ

1. 生き物を探したり、触れ合ったりする活動を行う。
2. 発見した生き物の名前や特徴を記録し、共有する。
3. 生き物の生態や生活環境について話し合い、学ぶ。

p.56 生きもの なかよくなろう

どうしたら なかよくなれるかな。

生き物を探したり、触れ合ったりする活動を通して、生き物の特性や生態について学び、生き物と共生する態度を育てる。

活動の流れ

1. 生き物を探したり、触れ合ったりする活動を行う。
2. 発見した生き物の名前や特徴を記録し、共有する。
3. 生き物の生態や生活環境について話し合い、学ぶ。

p.57 生きもの なかよくなろう

生き物を探したり、触れ合ったりする活動を通して、生き物の特性や生態について学び、生き物と共生する態度を育てる。

活動の流れ

1. 生き物を探したり、触れ合ったりする活動を行う。
2. 発見した生き物の名前や特徴を記録し、共有する。
3. 生き物の生態や生活環境について話し合い、学ぶ。

評価規準の例

評価規準の例

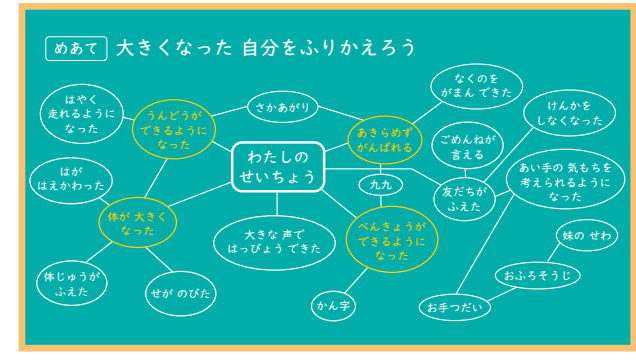
1. 知識・技能
生き物を探したり、触れ合ったりする活動を通して、生き物の特性や生態について学び、生き物と共生する態度を育てる。

2. 思考・判断・表現
生き物を探したり、触れ合ったりする活動を通して、生き物の特性や生態について学び、生き物と共生する態度を育てる。

3. 主体的に学習に取り組む態度
生き物を探したり、触れ合ったりする活動を通して、生き物の特性や生態について学び、生き物と共生する態度を育てる。

支援のポイントや留意点

NEW 板書例



学校現場のご意見をもとに板書の例示を増やしました。

ここがオススメ！
ICT活用のポイントや深い学びのヒント、板書例などを簡潔にまとめているので、忙しい先生方の授業準備にぴったりの一冊です。


その他の資料

第2部 詳説の続き

研究編

教材研究や研究授業のために

より授業を深める際には研究編をご活用いただけます。全時間分の指導案を掲載しています。



研究編

小単元の目標

入学してからの2年間の学習や生活を振り返り、過去の自分と現在の自分を比べながら、自分の成長やよきについて考え、自分が大きくなったことややることができるようになったこと、役割が増えたことなどに気付くことができるようにする。

評価規準の例

①自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかっていて、過去の自分と現在の自分を比べながら、自分の成長やよきについて考えている。

時間	活動の流れ	支援の手立て
1	①入学してからの2年間で、写真や動画をもとに学年全体で振り返る。 「入学してから、どんなことがあったかな？」 ▶1年生の時にアサガキを育てたよ。 ▶春と秋に村に人けんに行ったよ。	■学年全体の振り返りは、子どもが自ら思い出すことができ、また全員が一緒に経験している「入学してから今まで」を中心に振り返りを行うようにする。 ■低学年の子どもにとって、自分の成長を手がかりに振り返ることは難しいため、入学当初にかいた自分の名前や顔、行事の写真や動画などの具体的な写真や動画を、それらをもとに「できるようになったこと」を振り返らせるようにする。
2	②入学してからの2年間で、できるようになったことや得意になったこと、役割が増えたことなどをカードや付箋にかく。 「入学した頃の自分と今の自分を比べて、できるようになったことは、どんなことかな？」 「前の自分と今の自分を比べてみよう。」 ▶背が大きくなったよ。 ▶体操のサイズが大きくなった。 ▶ピーマンが嫌いだったけど、自分で育ててから食べられるようになったよ。	■友達と比較するのではなく、小学校へ入学した頃の自分と今までの自分を比べて、どのくらい伸びが認められるかを考えるように支援する。 ■感情的・身体的な成長だけでなく、優しい気持ち、他者への思いやり、我慢する心などの内面的な成長にも目を向けるように声かけを行う。 ■一人ひとりの子どもが一人得意なことを見つけ、自信をもつことができるように、学校生活・家庭生活・地域活動など多方面からの成長を取り上げるようにする。 ■自分の成長を実感していく子どもに対しては、教師が見取ってきた子どものよさを本人に伝えたり、友達から教えてもらった活動を取り入れるようにする。



付録 DVD-ROM

印刷してすぐに使える記録カードや保護者の方への手紙、年間活動計画や評価資料などをご用意しています。

主な内容

- 年間活動計画
- 単元設定の趣旨
- 評価規準と評価の具体例
- 指導案

KEIRINKAN Portal

Q 啓林館ポータルとは？

A 指導書に付属する指導用データやカード集などがダウンロードできるサービスです。指導書をご購入いただいた学校の先生がお使いいただけます。

Q 何がダウンロードできますか？

A 研究編付録 DVD-ROMの中に入っているデータと同様のものを、Webで閲覧、ダウンロードできます。
(記録カード、年間活動計画、単元評価資料)

URL : <https://primary.keirinkan-portal.com/>
ユーザー名 : keirin-seikatsu パスワード : trial-seikatsu



資料編

自然遊びや昔遊び、飼育・栽培など、役立つ資料を用意しています。



拡大ポスター（掲示用）

教室や廊下に掲示できる B2 サイズのポスターを収録しています。



スタートカリキュラム編

幼児教育と小学校教育との円滑な接続について丁寧に掲載しています。カリキュラム作成の基本から実践事例まで、多様な資料を用意しています。

ここがオススメ！

スタートカリキュラムを実践するにあたって、必要な事前準備や週案作成の手順、教室環境の例や注意すべきポイントなどを丁寧に解説しています。



週案

教室環境の例示



指導者用デジタル教科書（教材）



教科書紙面やコンテンツをデジタル黒板やプロジェクタで拡大表示することができる指導者用デジタル教科書（教材）を指導書付録として用意しています。

デジタル教科書のご紹介

より軽く、より快適に動作する 【超教科書クラウド+ 超教科書ビューア】

機能を充実させながらも、簡易な操作性を重視しました。紙面やコンテンツをさらに改良し、より軽く快適に利用できるようにしています。また、指導者用も学習者用も同じビューアを採用しており、操作が共通のため、意思疎通が容易です。



機能紹介



ペン



ズーム



図形描画



マイリンク



テキストボックス



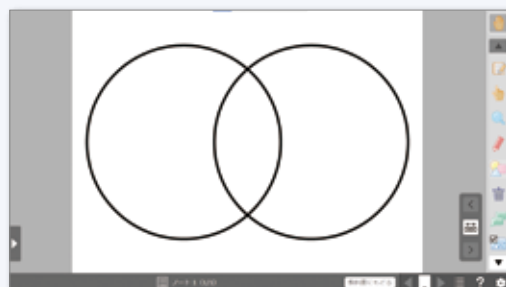
QR コンテンツ

教科書にある QR コンテンツがデジタル教科書ではアイコンを押すだけで簡単に利用できます。



バインダー

ノートのように自由にかきこみができるページです。背景になるテンプレートも用意しています。



超しおり

紙面やコンテンツのかきこみや操作した状態を保存したり、しおりをつけたページに飛ぶことができます。



特別支援機能

紙媒体の教科書のみを使用して学習することが困難な児童のための学習支援機能を実装しています。

ナビメニュー 文部科学省仕様に準拠した、各社共通の操作用メニューを実装しています。



※制作中のため、画面や機能、動作環境などは変更になる場合がございます。

商品概要

指導者用 デジタル教科書

学校内の指導者用端末で教師がご使用いただける、授業内で拡大提示できるライセンスを有した商品です。指導者用デジタル教科書は、教師用指導書の付録としてお届けいたします。

学習者用 デジタル教科書

学習者用端末で、利用する児童一人ひとりを対象にしたライセンス商品です。児童一人ひとりがデジタル教科書を使用する場合には、学習者用デジタル教科書を一人1ライセンスでご購入いただく必要があります。

※生活科の場合は、指導者用も学習者用も搭載機能・コンテンツは同じものとなります。

運用方法

動作環境

Windows

OS: Windows11, 10(64bit 日本語版)を推奨 ※Sモードは対象外
ブラウザ: Google Chrome、Microsoft Edge の最新版を推奨
解像度: 1366 × 768 以上 (1920 × 1080 程度を推奨)
メモリ: 4GB 以上 画面の表示色数の設定: 32 ビットカラー
CPU: Core i3 以上を推奨 (2016 年 8 月以降発売の Celeron でも動作を確認しています。)

iPad

OS: iPadOS15 以上
ブラウザ: Safari 最新版を推奨
解像度: Retina 解像度の iPad
対象タブレット: iPad Air2 以上

Chromebook

OS: Chrome OS 最新版
ブラウザ: Google Chrome 最新版を推奨
解像度: 1366 × 768 以上
メモリ: 4GB 以上

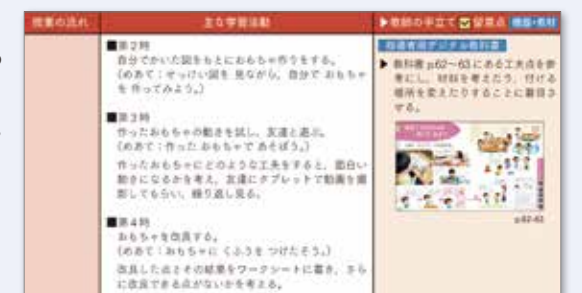
※基本的にはオンライン環境が必須です。



実践事例集

令和 2 年度版のデジタル教科書で、指導者用と学習者用を使った授業の実践事例をホームページで公開しています。教科ごとにさまざまな単元の事例があるのでぜひご覧ください。

→ <https://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/digital/jissen/index.html>



実際に体験できる!

右の QR コードより体験版で機能をお試しいただけます。



体験版や詳しい内容はこちらをご覧ください。

→ <https://digi-keirin.com/r6-dtext/seikatsu.html>



その他の資料

マルチリンガル教科書のご紹介

Keirinkanマルチリンガル教科書は、Catalog Pocket
(株式会社モリサワ)の自動翻訳機能を利用して、啓林館教科書
を多言語に表示できるアプリです。

ワンクリックで他言語を表示!

教科書のテキスト部分が様々な言語で表示されます
ので、外国籍や帰国子女の児童もスムーズに教科書
を読み進めることができます。

幅広い言語に対応!

- モリサワ社製のアプリ「カタログポケット」を利用して教科書を多言語表示します。
- iOS版、アンドロイド版、ブラウザ版があります。



外国籍・
帰国子女の
児童に



翻訳言語

SUPPORTED LANGUAGE



※ベトナム語以外は機械音声による読み上げもあります。

拡大教科書のご紹介

拡大教科書は、弱視児童の学習上の負担を軽減するために作成された教科書です。通常の教科書よりも、文字や写真、イラスト
などを大きく、読みやすく再構成しています。弊社教科書の算数・理科・生活科・外国語の4教科、全学年で発行します。

2020年度以降用教科書での紙面の例

▼原本教科書 (AB判)

▼拡大教科書 (A4判)



下巻 p.125

拡大して、2ページに再構成

※必要に応じて、原本教科書の1ページを、拡大教科書では2ページに再構成しています。

原寸

原寸

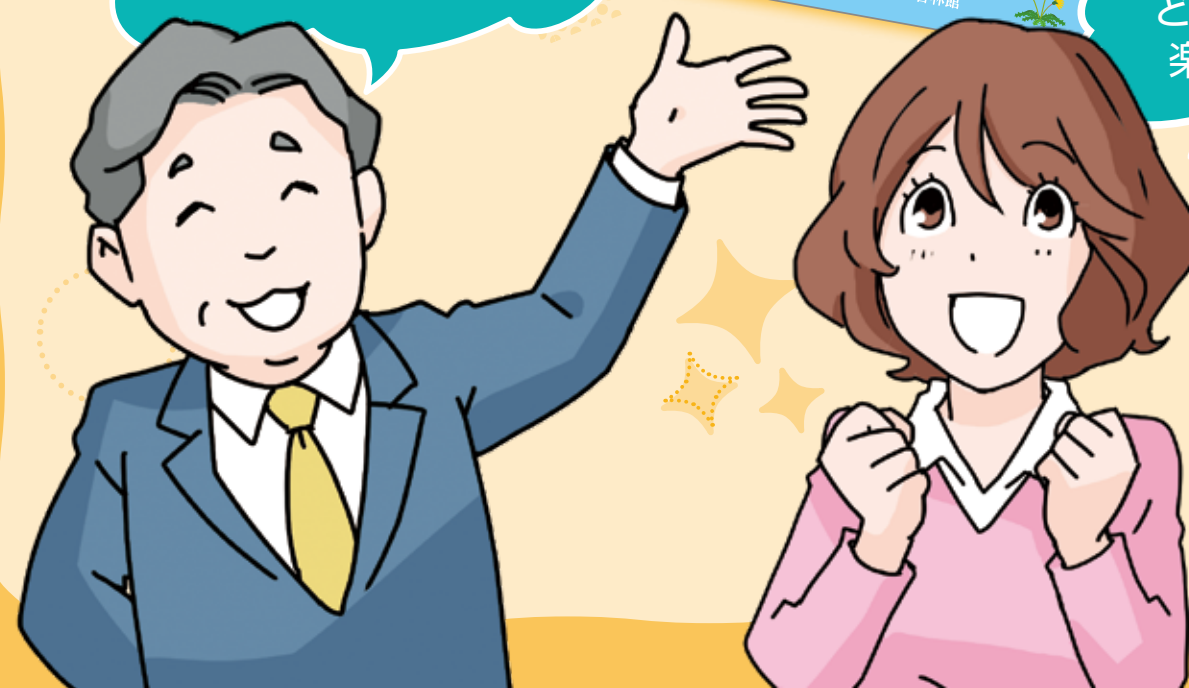
内容解説資料 特別漫画

マンガでわかる! 新しくなった教科書の魅力



2024年4月から
教科書が新しくなるよ。

どんな内容が
楽しみです。



マンガでわかる!
教科書の魅力

新しくなった教科書の魅力って？

参照 3段階構成 …… 本誌 p.8



教師も児童も、生活科が好きになる工夫！

参照 教室環境の例示 … 本誌 p.32
教師の声かけ …… 本誌 p.34
びっくりずかん …… 本誌 p.14



いよいよ、始まる。



著者編修関係者

中野 真志	愛知教育大学教授
田中 博之	早稲田大学教授
寺尾 慎一	元福岡教育大学学長
有馬 武裕	玉川大学客員教授
浦郷 淳	長崎国際大学講師
江森 今日子	川崎市立山田小学校教諭
往古 靖子	東京都板橋区立高島第六小学校新入育成教員
大喜多 嘉	追手門学院小学校教諭
川村 拓己	三沢市立上久保小学校校長
栗田 亨	浦和明の星幼稚園園長
香田 健治	関西福祉科学大学准教授
神村 美貴子	久御山町立御牧小学校教頭
小牟田 央	奄美市立市小中学校教諭
齋藤 健太	国分寺市立第三小学校主幹教諭
坂戸 英樹	元東京都大田区立六郷小学校校長
佐藤 真	関西学院大学教授
島 善信	千里金蘭大学教授
神保 諒一	山形大学附属小学校教諭
杉澤 学	三重大学講師
薄田 太一	和光大学准教授
竹中 真希子	大分大学大学院教授
竹原 章雄	関西女子短期大学教授
田巻 幸子	相模原市立若草小学校副校長
塚田 庸子	神奈川 CST 協会会長
時里 聡	東京都大田区立大森第一小学校主任教諭
徳山 敬倫	海老名市立有鹿小学校総括教諭
中井 義時	山形大学教授
西尾 牧子	鳥取大学附属小学校教諭
西野 雄一郎	愛知教育大学准教授
西山 俊彦	明星大学特任教授
仁宮 香	島根大学教育学部附属義務教育学校教諭
野口 一夫	山村学園短期大学学長
藤上 真弓	山口大学大学院准教授
藤本 勇二	武庫川女子大学准教授
藤山 浩世	大阪市立晴明丘小学校指導教諭
前田 一男	立教大学名誉教授
松本 美加	宇多津町立宇多津小学校主幹教諭
丸山 美鈴	東大阪市立高井田東小学校首席
三浦 ともみ	奈良市立済美小学校教頭
溝上 敦子	元佐世保市立柚木小学校校長
溝邊 和成	兵庫教育大学教授
村上 裕章	筑紫野市立筑紫東小学校指導教諭
村口 飛鳥	大阪教育大学附属天王寺小学校教諭
森元 貴子	大阪市立鯉江小学校校長
山中 美花子	元木更津市立南清小学校教諭
株式会社新興出版社啓林館編集部	

《幼児教育に関する監修》

池澤 正昭	幼保連携型認定こども園 八幡幼稚園・八幡ビジョン保育園園長
稲川 知美	宇都宮大学共同教育学部附属幼稚園副園長
木下 光二	鳴門教育大学大学院教授
庄司 暢道	認定こども園 東海大学付属本田記念幼稚園園長
高木 由加里	十和田カトリック幼稚園園長
田中 あき子	元幼稚園型認定こども園 大野幼稚園園長
寺尾 章子	元東京都文京区立青柳保育園園長
波岡 千穂	伸和学園堀川幼稚園副園長

《図鑑ページに関する監修》

岡島 秀治	東京農業大学名誉教授
北澤 哲弥	株式会社エコロジーパス取締役
廣瀬 光子	NACS-J 自然観察指導員

《特別支援教育に関する監修》

柘植 雅義	筑波大学教授
-------	--------

《言語力に関する監修》

芥川 元喜	金沢星稜大学准教授
流田 賢一	大阪市立堀川小学校首席

《道徳教育に関する監修》

松下 隼司	大阪市立豊仁小学校教諭
吉松 智昭	大阪市立加島小学校指導教諭

《防災・減災に関する監修》

河田 恵昭	関西大学特別任命教授・社会安全研究センター長
-------	------------------------

《環境教育に関する監修》

阿部 治	立教大学名誉教授
------	----------

《STEAM教育に関する監修》

中島 さち子	株式会社 steAm 代表取締役
--------	------------------